

おもしろい写真がいっぱいの最先端エンターテインメントグラフ誌

演劇ぶっく

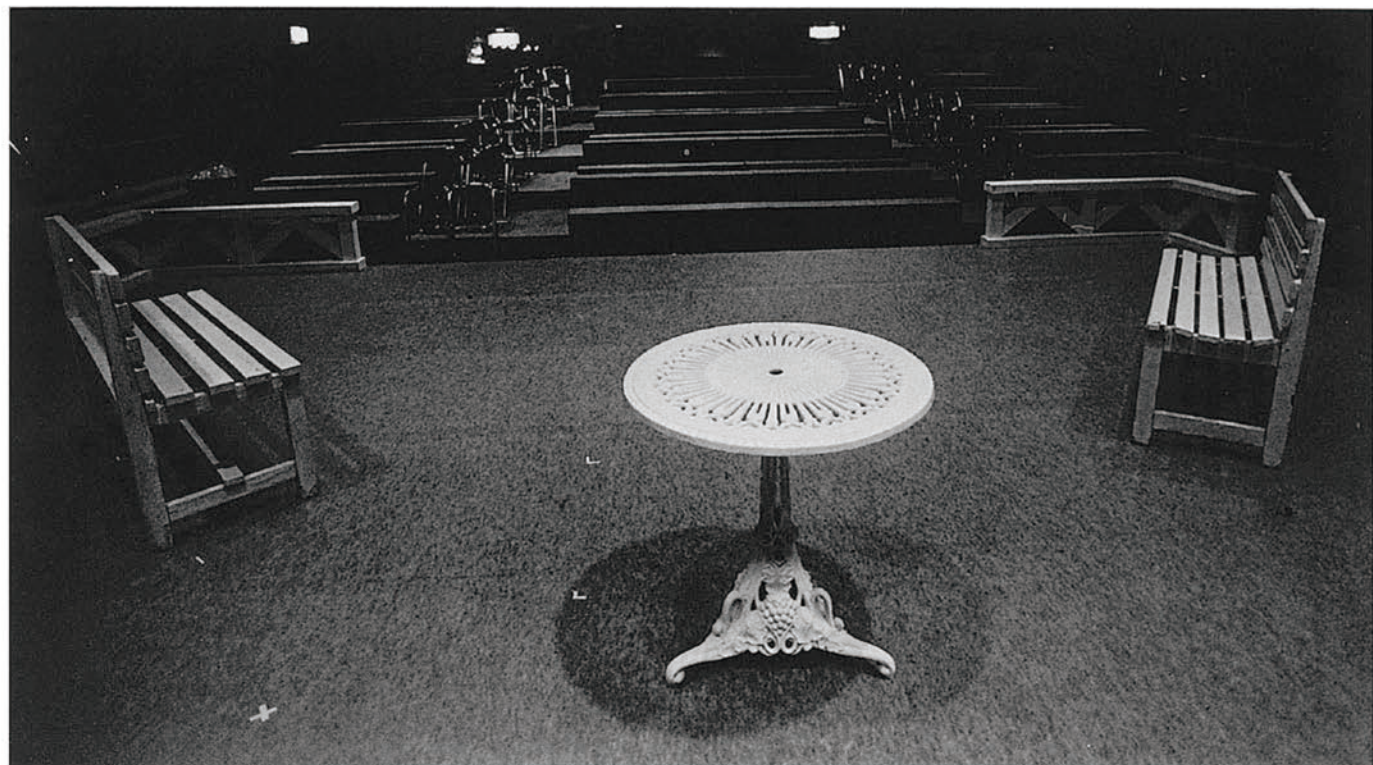
E N G E K I B O O K

創刊号

蜷川幸雄 遠藤ミチロウ 鴻上尚史 渡辺えり子 川村毅 木野花 上村柚梨子 平岡正明 上杉清文
山崎哲 扇田昭彦 朝倉摂 市川猿之助 如月小春 ローリー・アンダーソン リチャード・フォアマン
ヤン・ファールブル リンゼイ・ケンプ 自由劇場 夢の遊眠社 転形劇場 南河内万歳一座 東京乾電池

第三エロチカ「ニッポン・ウォーズ」





痛恨のハンバーガー!! 蜷川幸雄への暴走インタビュー——	2	80年代のヒット作3本がブロードウェイから——	38
真っ白からの出発 遠藤ミチロウインタビュー——	8	劇団青い鳥「クラウド9」制作ノート 木野花+上村柚梨子——	40
第三舞台「デジャ・ヴュ'86」+鴻上尚史+人気俳優六人衆——	10	リチャード・フォアマン「詩人の誕生」 田上節朗——	44
第三エロチカ「ニッポン・ウォーズ」+川村毅——	14	WRITING STAGE 上杉清文+平岡正明+山崎哲+常田富士男——	46
転形劇場「やじるし」——	18	「夢の遊眠社」という名のイベントムーブメントが始まる——	48
ヤン・ファール「劇的狂気の力」——	20	世仁下乃一座・3連続作品上演——	49
ローリー・アンダーソン「ナチュラル・ヒストリー」——	22	テアトロ・イン・キャビン「疾風馬鹿力篇」——	50
自由劇場「家鴨列車」——	24	東京乾電池「まことむすびの事件」——	51
市川猿之助「ヤマトタケル」——	25	月蝕歌劇団「女神ワルキューレ海底行」——	52
パリ・テアトル・ジェミエ「サド侯爵夫人」——	26	東京グラン・ギニョル「LITCHI HIKARI CLUB」——	53
劇団300「千の眼のカテンツァ」+渡辺えり子——	28	ランダム・アクセス——	54
朝倉摂ヴィジュアル・パフォーマンス——	32	追想 土方巽 羽永光利——	56
風間杜夫「愛のスクランブル」——	34	小劇場演劇の軌跡① 出発は冒険だった 扇田昭彦——	58
鳥獣戯画「桜姫恋袖絵」——	35	本当の西部劇の襲来—サム・シェパード 西部という神話——	62
西武シード開幕イベント		春のプランニング・ボード——	63
如月小春+マーク・コスタビ+リンゼイ・ケンブ——	36	演劇学校インフォメーション 国立劇場・養成課+市川笑也——	64



photo・神村光洋

「痛恨のハンバーガー!!」

蜷川幸雄への暴走インタビュー

インタビューアー●山口 猛

これは、3月25日4時45分から5時15分までの30分間。次の公演の主役でもある、遠藤ミチロウ氏との打ち合わせの間隙を縫って、行われたものである。

この蜷川氏を捕まえるのが一苦勞だった。1月2月は、二つの芝居の同時稽古、更に、次の公演の打ち合わせ、オーディション等。その忙しい中、テレビで、役者としてもカムバックということでも、夜中でも接触出来なかつたのである。

しかも、大きな障害があった。つまり、思想、信条の問題である。氏は、一般新聞、雑誌の取材には応じるが、演劇業界誌は相手にしたくないというのである。

それは、ひどく当然のことであつた。演劇だけに与らねたという方針で自らの表現活動をしてきた氏について、今は休刊（この業界内では、廃刊と同義）となつてゐる『日本読書新聞』で、かつて書こうとしたところ、批判ならば載せるが、そうでなければ、断るという。他も大同小異であり、それほど、小劇場の主（これも、今となつては何とも懐かしい響きを持つ）の一人であつた氏が、商業演劇の世界に移つたということの評判は悪く、演劇村の偏狭さを示すことは多々あつたのである。

かくして、インタビューに対する思想、信条では一致しつつ、演劇でありつつ、演劇ではないのを目指すものにしたという理由にもならない理屈を並べて、ついでに、うさん臭く、破滅的で、破壊的で、猥雑で、いかげつ、猥雑で、気遣いじみたものを好む氏に對して、氏の思想信条以上に動かされるものは何かと思ひ、人との関係をデリケートに考へるといふ致命的な弱点を点いて、このインタビューは実現したものである。

尚、最後に未完とあるのは、こちらとしては、何かかにかに理由をつけて、氏の登場を続けたかと思つてゐるからである。もつとも、それは、この本が出来上がつてからの氏の態度の如何にかかつてゐる。何しろ、普通とは異なり、原稿も見ない、ゲラも好きにしろ、だが、後で、どうなるかは分からんぞという恫喝含みのものであつたからである。

●俺は演出界の杉良太郎

山口 ヤン・ファープル、ひどかつたって？

蜷川 あんなスノッブみたいなの、バカバカしい。もう怒つて帰つて来ちゃつた。次の日にヤン・ファープルに会つてくれつて言われて、見なさや分らないと思つて行つたけど、1時間ちよつとで、ぼくはもう帰つちやつた。何が挑発だ、何が新しい空間だつたんだよ。会うのやめたよ。

山口 4時間でしょう。

蜷川 うん。あんなものは氣樂に使所行つて、めし食つたりしながら見てりやいんだらうけど。俺は時間もつたないから。何が時間を変えるだ。バカにするなつて言うんだ。

山口 やつぱり三〇歳過ぎると時間がもつたないですね。

蜷川 もつたないよ。映画見てた方がよつ

あんなものは、ダメなんだつていう、ちゃんと意思表示をした方がいいんだよ。

山口 そうだろうね。今、何でもそういうの割と受け入れちやうでしよう。

蜷川 パンフレットがね、ご大層に前衛劇風に書いてあるだろう。解説入りで。そうすると野次が飛ぶと民青みたいに、「静かにしろ」

「帰れ、帰れ、帰れ」つて言うバカがいるんだつてさ（笑）。翌日野次つたやつが、「バカじやないか」つて。あんなものは舞台へ上がり

たかつたら上がつてもいいわけだよ。そういう作りになってあるんだから。洋服脱がしたくなつたら脱がしやいいじやない。だから何したつていいんだよ、ああいうのは。帰つてもいいんだよ。

山口 民青の客つてのがすごいね。もつとも、芝居の客つて民青の客みたいなのが多いね。

蜷川 信仰なんだよな。宗教の信仰みたいなものなんだよ。ああいう雰囲気は我慢出来ないね。

山口 蜷川さんの客だつて、そういうの多いでしょう。

蜷川 俺のはまだ、芸能を信仰してんだからね、かわいくない？（笑） 杉良太郎だよ。演出界の杉良太郎。

山口 誰が？（笑）

蜷川 俺だよ（笑）。だいたい三〇、四〇代の主婦でしょ。帝劇の観客層は。杉良太郎ですよ。

山口 スタジオ公演は観客が圧倒的に若いわけでしょう？

蜷川 若いね。入場料が千円台、せいぜい千二百円から千三百円だからね。入場料だと思ふな、恐らくね。

山口 杉良太郎と二つの両輪を意識的に走らせているわけですね。

蜷川 つまり、今度だつてそうだよ。「オイデイス王」をやつて、10日に終つて17日には

遠藤ミチロウとスタジオでやるわけだ。あのピットの二百人のキャパシティで。両方とも、これは離れちやいけなかつたんだよ。「オイデイス王」を終わつたらバツと黒川川に向かう側へジョンと飛んで、小さい公演でやるの。それで、相対化しちやいたい。両方本場で、ワンセットであるつていうのが、ミソね。

山口 遠藤ミチロウに注目したつていうのは。蜷川 歌も使つてゐるからね。それに彼のアナキーなコンセプト、解体し尽くそうとする強引さだね。それとぶつかれば、こつちも何かあるだろうと思つてゐるだけで、まったく分らないから、どんなのをやるのか。彼は、3枚のLPぶつ続けて歌うつていうでしょう。そんなの、戯曲もないしね。基本的に登場だけは決めたけど。そのあとは一体どうしていか？これは「オイデイス王」の大プロジエクトをやしながら、ミクロの世界を併せて、そこで回転し始めればね……

山口 でも、この間の「タンゴ冬の終わりに」にしても、割と戸川純とか、音楽でも物騒なちよつと変わった、狂つたふうのあるやつ入れて。そういう感覚であるでしょう。以前はそれに代表されるのは、唐十郎だつたりしたけど。ある種のそういう感覚である。それがやつぱり芝居だけじゃなくなつたつていうことかな？ 演出家としての嗅覚からすると。

蜷川 まあ、ことに清水邦夫のものをやろうとする時にね、自分でどこかで破壊したいつていう衝動が湧くんだね。そういうものが出てくるね。

山口 鞭で打たれてヒュー喜ぶ男清水が、蜷川さんの心の奥底に棲むサド心を刺激するみたいなんですね。

蜷川 バカ（笑）そうじゃないけどな。清水

ぼど面白い。俺だつて、自分が3時間近く、いつお客が帰るかなつて芝居やつたけど（笑）。人にやられると不愉快だね。

山口 自分でやるのはいんだね。

蜷川 そう。あんな退屈な芝居ないよ。別に肉体的にすることもないし、ハアハアハアハア駆け足して、しゃがんで、偉そうな顔して煙草吸つてさ、観客を見つめるなんて、てめえら傲慢だつてんだよ。何したつてんだ、駆け足の真似して煙草吸つただけじゃねえか。あれは、何の意味があるんだ。なんて、お前はそうした顔をしてね、客の顔を平気で見られるんだ、うつむけつて言つてんだよ、俺は。てめえは恥ずかしんだらうが、うつむいて煙草吸つてろ。（笑）あそこ腹立つて帰つて来た。偉そうにプーなんてさ、客の顔見て。よく見られるよ。翌日俺のときの若いヤツが行つて、あそこトマト投げて来た。

あんなものは、ダメなんだつていう、ちゃんと意思表示をした方がいいんだよ。

山口 そうだろうね。今、何でもそういうの割と受け入れちやうでしよう。

蜷川 パンフレットがね、ご大層に前衛劇風に書いてあるだろう。解説入りで。そうすると野次が飛ぶと民青みたいに、「静かにしろ」

「帰れ、帰れ、帰れ」つて言うバカがいるんだつてさ（笑）。翌日野次つたやつが、「バカじやないか」つて。あんなものは舞台へ上がりたかつたら上がつてもいいわけだよ。そういう作りになってあるんだから。洋服脱がしたくなつたら脱がしやいいじやない。だから何したつていいんだよ、ああいうのは。帰つてもいいんだよ。

山口 民青の客つてのがすごいね。もつとも、芝居の客つて民青の客みたいなのが多いね。

蜷川 信仰なんだよな。宗教の信仰みたいなものなんだよ。ああいう雰囲気は我慢出来ないね。

山口 蜷川さんの客だつて、そういうの多いでしょう。

蜷川 俺のはまだ、芸能を信仰してんだからね、かわいくない？（笑） 杉良太郎だよ。演出界の杉良太郎。

山口 誰が？（笑）

蜷川 俺だよ（笑）。だいたい三〇、四〇代の主婦でしょ。帝劇の観客層は。杉良太郎ですよ。

山口 スタジオ公演は観客が圧倒的に若いわけでしょう？

蜷川 若いね。入場料が千円台、せいぜい千二百円から千三百円だからね。入場料だと思ふな、恐らくね。

山口 杉良太郎と二つの両輪を意識的に走らせているわけですね。

蜷川 つまり、今度だつてそうだよ。「オイデイス王」をやつて、10日に終つて17日には

遠藤ミチロウとスタジオでやるわけだ。あのピットの二百人のキャパシティで。両方とも、これは離れちやいけなかつたんだよ。「オイデイス王」を終わつたらバツと黒川川に向かう側へジョンと飛んで、小さい公演でやるの。それで、相対化しちやいたい。両方本場で、ワンセットであるつていうのが、ミソね。

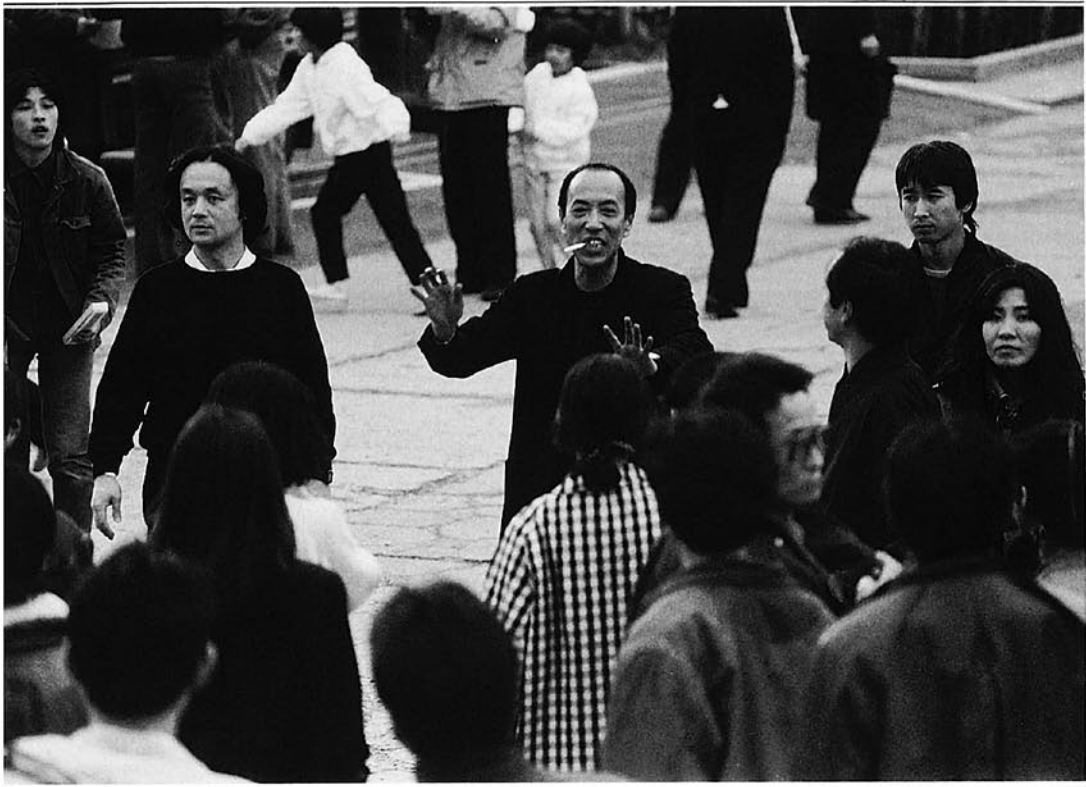
山口 遠藤ミチロウに注目したつていうのは。蜷川 歌も使つてゐるからね。それに彼のアナキーなコンセプト、解体し尽くそうとする強引さだね。それとぶつかれば、こつちも何かあるだろうと思つてゐるだけで、まったく分らないから、どんなのをやるのか。彼は、3枚のLPぶつ続けて歌うつていうでしょう。そんなの、戯曲もないしね。基本的に登場だけは決めたけど。そのあとは一体どうしていか？これは「オイデイス王」の大プロジエクトをやしながら、ミクロの世界を併せて、そこで回転し始めればね……

山口 でも、この間の「タンゴ冬の終わりに」にしても、割と戸川純とか、音楽でも物騒なちよつと変わった、狂つたふうのあるやつ入れて。そういう感覚であるでしょう。以前はそれに代表されるのは、唐十郎だつたりしたけど。ある種のそういう感覚である。それがやつぱり芝居だけじゃなくなつたつていうことかな？ 演出家としての嗅覚からすると。

蜷川 まあ、ことに清水邦夫のものをやろうとする時にね、自分でどこかで破壊したいつていう衝動が湧くんだね。そういうものが出てくるね。

山口 鞭で打たれてヒュー喜ぶ男清水が、蜷川さんの心の奥底に棲むサド心を刺激するみたいなんですね。

蜷川 バカ（笑）そうじゃないけどな。清水



のまとまったやつを自分で破壊したくて、ギューッと引っ掻き回したくなるわけだ。それで、破壊されてる戯曲だと、それは自分でまとめようとするという。猿飛佐助だね。ピョンピョコ、ピョンピョコ。

山口 フロイト流の用語で言うところ、エロスとタナトスの闘争みたいなものですね。

蜷川 そうだな、カッコよく言えば、俺、芸能人だから、そんなカッコよく言わないよ(笑)。

山口 テレビに出るって…

蜷川 そうだよ。役者やっているんだもの、最近、復活したんだ、俺は。今、撮影しているんだよ。TBSで山崎努といっしょの。シエクスピアの亡霊の役をやっているわけ。本

格的に演技者として、久方ぶりにカムバックしたんだよ。

山口 それで、しばらく続けるんですか？

蜷川 うまくいったらね。ほら、俺、出来上がりかかってきているじゃない。人に作られたイメージとかあるような気がするのね。それを、ちょっとグチャグチャにしておこうっていうようなね。

山口 そういうところで、割と今、蜷川さん怖いものなしっていうところあるでしょう。

蜷川 そうかな。何も言わなくなったね、みんな。

山口 だって言うわけにいかないんだもの。

蜷川 言っても、ま、届かないっていうか。前は非難が、石つぶてが飛んで来たわけだ。村八分の石つぶて。演劇村を追われたわけだ(笑)。だから、帰らないよ、俺(笑)。

山口 まあ、そう言ってた人が裏切ってるから。それにもう裏切る裏切らないって関係じゃないしね。

蜷川 時代もグズグズに腐ってね。だから、ぼくはこういう色塗られたなああって思ったら勝手に壊したりさ。

山口 でもさ、勝手に壊すのが集団で出来て、インパクトを持てるっていうの、蜷川さん以外にいないでしょう、今。

蜷川 でも、野田とかさ、若い世代は、やっつてるでしょ。

山口 だけど、もっとスケール小さいでしょう。それに野田なんかの場合、やっぱり企業に対して、自由にやってみただけで、逆にそれを使いこなすってわけにはいかないもの。

蜷川 そうかな。

山口 うん。一見自由風でそうじゃないって感じ。ある一つの枠の中だもの。それほど戦略的じゃない。

蜷川 俺だって戦略的じゃないよ。

山口 その方が相手も混乱していいでしょう。しかも、頼まれて蜷川さんがジュリーのコンサートで演出して、余技で三宅一生のショーに出て、社会的にはそうは見えずに、一つの表現スタイルになるわけだから。

蜷川 一生じゃなくて山本寛斎(笑)。あれはモデルで出ただけだね。

山口 野田が出たって、それは違うわけですよ。

●演出家としてのルール

山口 西武のテアトル東京の跡地の劇場の話あれ、結局断つたんですか？ ひどかったね。ラインナップ見たら。文学座、民芸だって。

蜷川 俺は、この間、断つたよ。

山口 やっぱり蜷川さんのイメージとしたらね。

山口 野次馬(笑)。

蜷川 そう、野次馬。なんかかなあつて。それが、俺の現場の演出家としてのルールだね。面白いことないかな、というのが。

山口 そういうアンテナに引っかかったのが、遠藤ミチロウだったりするわけでしょう。

蜷川 そうそう。ファッションショーに出るのもそうだし、ジュリーがカムバックするっていうえば、ちょっと一発なんかやるかなあつて。雨降らしちゃおうとか。都はるみが引退するっていったら、あつ椿でいこうとかね。

で、NHKホールに行つてパイプオルガンを見ると、じゃあオーブニングはあのパイプオルガン使いましょ(笑)。宮川泰さんなんか、「アンコ椿は恋の花」をあのパイプオルガンで、オーバーチュアでやってくれ。」って頼むわけだ。そういうのが楽しいわけだよ。それまで、都はるみなら、都はるみはこういう人だと思つてたものを、パイプオルガン使つて、NHKホール中響かせるってことによつて、ちょっとズラしていく。それで彼女の持ち味を最終的には出していくってことだから。遊ぶっていうか、違う角度を発見するということは、職人の名譽ってこともあるわけだ。

山口 そういふので、演劇の範疇レベルにはうんざりしているところあるでしょう。

蜷川 そりやもう、そこで評価してくれなかったっていいよ。関係ないからね。

山口 それで今、そうでもないものでやらないと、気分乗らないって感じがあるわけだ。

蜷川 あるね。それはもちろん。自分が極く小さな何かにこだわる時と、もっと壮大な何かを揚げようと思う時とは、自分のその時の心情の中でいろいろブレるわけだよ。2月の中旬なんて俺はダメだって悩んでたじゃない。でもあれは二、三日たつと、やっぱり治ってくるわけね。それでもう忘れちゃう。元気い

あつて。

山口 野次馬(笑)。

蜷川 そう、野次馬。なんかかなあつて。それが、俺の現場の演出家としてのルールだね。面白いことないかな、というのが。

山口 そういうアンテナに引っかかったのが、遠藤ミチロウだったりするわけでしょう。

蜷川 そうそう。ファッションショーに出るのもそうだし、ジュリーがカムバックするっていうえば、ちょっと一発なんかやるかなあつて。雨降らしちゃおうとか。都はるみが引退するっていったら、あつ椿でいこうとかね。

で、NHKホールに行つてパイプオルガンを見ると、じゃあオーブニングはあのパイプオルガン使いましょ(笑)。宮川泰さんなんか、「アンコ椿は恋の花」をあのパイプオルガンで、オーバーチュアでやってくれ。」って頼むわけだ。そういうのが楽しいわけだよ。それまで、都はるみなら、都はるみはこういう人だと思つてたものを、パイプオルガン使つて、NHKホール中響かせるってことによつて、ちょっとズラしていく。それで彼女の持ち味を最終的には出していくってことだから。遊ぶっていうか、違う角度を発見するというこ

いだろう、今は。

山口 あの時、なんか慰めたような気がするな、ぼく(笑)。

蜷川 お前、批判したらいいな、俺のこと。自分の過去をそうやって否定したって残つてるものだから、とかなんとか言つて(笑)。もうやめちゃったの。考えるのを(笑)。

山口 それでアンテナだけを張っているわけなんだ。引っかかれば、やればいいんでしょ。その昔は何かしたくても、なかなか実現するのは難しかったけども、今は割と自由に出来ることがあるでしょう。

蜷川 そうね。自由に出来る。でもその分、これは周りのスタッフが大変だと思う。プロデューサーとかスタッフが、お金の問題とかね。それを説得したり、たとえば企業、会社で、東宝なら東宝でやる場合は、それは誰かが、上の人達と話し合わなきゃならないわけだよ。東宝に関しては中根プロデューサーが全部、やっている。これは大変な仕事なんだよ。俺はCMなんかやつても二回も降りてるしね。

山口 作りかけてたんですか？

蜷川 大道具を発注して、クランク・イン何日前に「やめだ」って二回降りた。そういうのはやっぱりね。現場は後処理が大変。

山口 その時はなんで降りたんですか？

蜷川 企業とイメージが最終的なコンテで合わなかった。だったら「やめだ」ですよ。いくら名前が出なくなつたって、てめえがみつともないじゃない。金は欲しいよ、年収そんなにないんだから(笑)。でも、別に偉ぶるとかそんな気はないけど、だめなものだめだものね。それでやっぱり、不確定要素が多くて、自分が、そのハードルがちょっと高くて、足引っ掛けちゃうかなっていうようなものが面白いわけだ。

●クレインで月を上げよう！

山口 例の「オイディプス王」はスケールの大きさをひかれたわけですね。

蜷川 大変だよ。予算はオーバーしちゃうだろうね。まずギリシャから女優を呼んで来て、出演料だ、滞在費だつていつてたんだじや、日本俳優連合の全予算より高いでしょう。まあ、ばかな演出家を日本へ呼んで来て演出させてるよりいいよな。

山口 あれはひどい。

蜷川 いるじやない、イギリスあたりの恥ずかしいようなの。向こうでも使わないって言われているようなの引つぱつてきたりね(笑)。よけいなことだから、それはいいけどさ(笑)。音楽予算にしても、おれの演出プランが出ないから、予算が立てられないわけだよ。それでも、もう稽古の初日は迫ってくるし…。

山口 あつ、まだ出してない？

蜷川 出してない。大まかなプランしかね。まあ、何度か本願寺へ通つたわけですよ、自分で行つてみるわけ。銀座の辺から歩きながら築地まで来ると、本願寺が見えてくる。自分で歩いてみると、そのアプローチそのものが面白いのね。都市のセンターから、魚河岸があつて、急に昭和のお化けみたいな、変なインド様式の建築の、変な石造りの寺院があるわけだ。ここでギリシャ悲劇をやる。しかも、太鼓をドンドコ叩いたり、全部なま音で音楽をやる。だけど、都市をこのまま使つたって、たいしたインパクトない。「あつ、そうだ、ここでフィクションの月を出そう」、突然思うわけだ。地べたに寝ころがってた月がね、クレインですうーっと持ち上げられていく。人工の月は、こう、上がるわけだ。で、本当の月がこっち側で…。なんて思うと、「クレイン、クレイン、クレインで人工の月上げるぞ」(笑)。周りは「なんて、人工の

月上げなきゃいけないんだ、本当の月が出るかもしれないのに」と言う。だけど、フィクションの月を上げるってことによつて、ニセの祝祭空間だという二重構造を明瞭にしようと思つてね。そして、ギリシャ悲劇を日本語に置き換えてやっているっていう全部の二重性を、劇のコンセプトとして成り立たせながら、それは…まあ、ちよつと解説しちゃまずいね(笑)。知らん顔して、「わあ月が出てきた、何かしら」「あつ、月が上がるわけだ」光が入る。「あつ月だわ、ドロドロドロドロと、何かが始まる。そういうスリリングなさ…。

山口 蜷川さん、スタッフに何かしゃべる時だいたい、いつもそういう調子ですか？

蜷川 ううん、こういうふうにはしゃべらない。

山口 野次馬(笑)。

蜷川 そう、野次馬。なんかかなあつて。それが、俺の現場の演出家としてのルールだね。面白いことないかな、というのが。

山口 そういうアンテナに引っかかったのが、遠藤ミチロウだったりするわけでしょう。

蜷川 そうそう。ファッションショーに出るのもそうだし、ジュリーがカムバックするっていうえば、ちょっと一発なんかやるかなあつて。雨降らしちゃおうとか。都はるみが引退するっていったら、あつ椿でいこうとかね。

で、NHKホールに行つてパイプオルガンを見ると、じゃあオーブニングはあのパイプオルガン使いましょ(笑)。宮川泰さんなんか、「アンコ椿は恋の花」をあのパイプオルガンで、オーバーチュアでやってくれ。」って頼むわけだ。そういうのが楽しいわけだよ。それまで、都はるみなら、都はるみはこういう人だと思つてたものを、パイプオルガン使つて、NHKホール中響かせるってことによつて、ちょっとズラしていく。それで彼女の持ち味を最終的には出していくってことだから。遊ぶっていうか、違う角度を発見するというこ

いだろう、今は。

山口 あの時、なんか慰めたような気がするな、ぼく(笑)。

蜷川 お前、批判したらいいな、俺のこと。自分の過去をそうやって否定したって残つてるものだから、とかなんとか言つて(笑)。もうやめちゃったの。考えるのを(笑)。

山口 それでアンテナだけを張っているわけなんだ。引っかかれば、やればいいんでしょ。その昔は何かしたくても、なかなか実現するのは難しかったけども、今は割と自由に出来ることがあるでしょう。

蜷川 そうね。自由に出来る。でもその分、これは周りのスタッフが大変だと思う。プロデューサーとかスタッフが、お金の問題とかね。それを説得したり、たとえば企業、会社で、東宝なら東宝でやる場合は、それは誰かが、上の人達と話し合わなきゃならないわけだよ。東宝に関しては中根プロデューサーが全部、やっている。これは大変な仕事なんだよ。俺はCMなんかやつても二回も降りてるしね。

山口 作りかけてたんですか？

蜷川 大道具を発注して、クランク・イン何日前に「やめだ」って二回降りた。そういうのはやっぱりね。現場は後処理が大変。

山口 その時はなんで降りたんですか？

蜷川 企業とイメージが最終的なコンテで合わなかった。だったら「やめだ」ですよ。いくら名前が出なくなつたって、てめえがみつともないじゃない。金は欲しいよ、年収そんなにないんだから(笑)。でも、別に偉ぶるとかそんな気はないけど、だめなものだめだものね。それでやっぱり、不確定要素が多くて、自分が、そのハードルがちょっと高くて、足引っ掛けちゃうかなっていうようなものが面白いわけだ。

月上げなきゃいけないんだ、本当の月が出るかもしれないのに」と言う。だけど、フィクションの月を上げるってことによつて、ニセの祝祭空間だという二重構造を明瞭にしようと思つてね。そして、ギリシャ悲劇を日本語に置き換えてやっているっていう全部の二重性を、劇のコンセプトとして成り立たせながら、それは…まあ、ちよつと解説しちゃまずいね(笑)。知らん顔して、「わあ月が出てきた、何かしら」「あつ、月が上がるわけだ」光が入る。「あつ月だわ、ドロドロドロドロと、何かが始まる。そういうスリリングなさ…。

山口 蜷川さん、スタッフに何かしゃべる時だいたい、いつもそういう調子ですか？

蜷川 ううん、こういうふうにはしゃべらない。

山口 でも説得力ありますね。

蜷川 「月がパァー」とか、「クレインは？ 音は？」とかね。「月が上がるだろ、お客はハツとするだろ。ライトがそこでサツと入ると、下で舞を舞つて」とかワーツとやるわけ。それでイメージがいいと、みんなは、仕方がないから、「じゃあそつくりの探さなきゃ。いくらだ？」なんてゆうのを後でやるんじゃない(笑)。だから、もうその迫力で、自分が現場に行つて思つた迫力のまま、今みたいにしゃべっていくわけね。説得していくわけ。これは反対したら怒るかなって内心思わせるように。で、後は知らない、で帰っちゃう。すると、今度はみんなが、お金の計算とか、クレインはいくらだとか考えてくれるんだよ。でも、俺は人工の月が出たらいいだろうなという、その確信だけはあるわけだ。それはどうしてもやりたいから、「これがやれないぐらいだったら、もうやめた方がいいや」なんて言うわけだよ。

山口 その辺にこだわんなきゃ何も出来ないですものね。やっぱり一個でも妥協すると、

のまとまったやつを自分で破壊したくて、ギューッと引っ掻き回したくなるわけだ。それで、破壊されてる戯曲だと、それは自分でまとめようとするという。猿飛佐助だね。ピョンピョコ、ピョンピョコ。

山口 フロイト流の用語で言うところ、エロスとタナトスの闘争みたいなものですね。

蜷川 そうだな、カッコよく言えば、俺、芸能人だから、そんなカッコよく言わないよ(笑)。

山口 テレビに出るって…

蜷川 そうだよ。役者やっているんだもの、最近、復活したんだ、俺は。今、撮影しているんだよ。TBSで山崎努といっしょの。シエクスピアの亡霊の役をやっているわけ。本

格的に演技者として、久方ぶりにカムバックしたんだよ。

山口 それで、しばらく続けるんですか？

蜷川 うまくいったらね。ほら、俺、出来上がりかかってきているじゃない。人に作られたイメージとかあるような気がするのね。それを、ちょっとグチャグチャにしておこうっていうようなね。

山口 そういうところで、割と今、蜷川さん怖いものなしっていうところあるでしょう。

蜷川 そうかな。何も言わなくなったね、みんな。

山口 だって言うわけにいかないんだもの。

蜷川 言っても、ま、届かないっていうか。前は非難が、石つぶてが飛んで来たわけだ。村八分の石つぶて。演劇村を追われたわけだ(笑)。だから、帰らないよ、俺(笑)。

山口 まあ、そう言ってた人が裏切ってるから。それにもう裏切る裏切らないって関係じゃないしね。

蜷川 時代もグズグズに腐ってね。だから、ぼくはこういう色塗られたなああって思ったら勝手に壊したりさ。

山口 でもさ、勝手に壊すのが集団で出来て、インパクトを持てるっていうの、蜷川さん以外にいないでしょう、今。

蜷川 でも、野田とかさ、若い世代は、やっつてるでしょ。

山口 だけど、もっとスケール小さいでしょう。それに野田なんかの場合、やっぱり企業に対して、自由にやってみただけで、逆にそれをを使いこなすってわけにはいかないもの。

蜷川 そうかな。

山口 うん。一見自由風でそうじゃないって感じ。ある一つの枠の中だもの。それほど戦略的じゃない。

蜷川 俺だって戦略的じゃないよ。

山口 その方が相手も混乱していいでしょう。しかも、頼まれて蜷川さんがジュリーのコンサートで演出して、余技で三宅一生のショーに出て、社会的にはそうは見えずに、一つの表現スタイルになるわけだから。

蜷川 一生じゃなくて山本寛斎(笑)。あれはモデルで出ただけだね。

山口 野田が出たって、それは違うわけですよ。

山口 野次馬(笑)。

蜷川 そう、野次馬。なんかかなあつて。それが、俺の現場の演出家としてのルールだね。面白いことないかな、というのが。

山口 そういうアンテナに引っかかったのが、遠藤ミチロウだったりするわけでしょう。

蜷川 そうそう。ファッションショーに出るのもそうだし、ジュリーがカムバックするっていうえば、ちょっと一発なんかやるかなあつて。雨降らしちゃおうとか。都はるみが引退するっていったら、あつ椿でいこうとかね。

で、NHKホールに行つてパイプオルガンを見ると、じゃあオーブニングはあのパイプオルガン使いましょ(笑)。宮川泰さんなんか、「アンコ椿は恋の花」をあのパイプオルガンで、オーバーチュアでやってくれ。」って頼むわけだ。そういうのが楽しいわけだよ。それまで、都はるみなら、都はるみはこういう人だと思つてたものを、パイプオルガン使つて、NHKホール中響かせるってことによつて、ちょっとズラしていく。それで彼女の持ち味を最終的には出していくってことだから。遊ぶっていうか、違う角度を発見するというこ

いだろう、今は。

山口 あの時、なんか慰めたような気がするな、ぼく(笑)。

蜷川 お前、批判したらいいな、俺のこと。自分の過去をそうやって否定したって残つてるものだから、とかなんとか言つて(笑)。もうやめちゃったの。考えるのを(笑)。

山口 それでアンテナだけを張っているわけなんだ。引っかかれば、やればいいんでしょ。その昔は何かしたくても、なかなか実現するのは難しかったけども、今は割と自由に出来ることがあるでしょう。

蜷川 そうね。自由に出来る。でもその分、これは周りのスタッフが大変だと思う。プロデューサーとかスタッフが、お金の問題とかね。それを説得したり、たとえば企業、会社で、東宝なら東宝でやる場合は、それは誰かが、上の人達と話し合わなきゃならないわけだよ。東宝に関しては中根プロデューサーが全部、やっている。これは大変な仕事なんだよ。俺はCMなんかやつても二回も降りてるしね。

山口 作りかけてたんですか？

蜷川 大道具を発注して、クランク・イン何日前に「やめだ」って二回降りた。そういうのはやっぱりね。現場は後処理が大変。

山口 その時はなんで降りたんですか？

蜷川 企業とイメージが最終的なコンテで合わなかった。だったら「やめだ」ですよ。いくら名前が出なくなつたって、てめえがみつともないじゃない。金は欲しいよ、年収そんなにないんだから(笑)。でも、別に偉ぶるとかそんな気はないけど、だめなものだめだものね。それでやっぱり、不確定要素が多くて、自分が、そのハードルがちょっと高くて、足引っ掛けちゃうかなっていうようなものが面白いわけだ。

月上げなきゃいけないんだ、本当の月が出るかもしれないのに」と言う。だけど、フィクションの月を上げるってことによつて、ニセの祝祭空間だという二重構造を明瞭にしようと思つてね。そして、ギリシャ悲劇を日本語に置き換えてやっているっていう全部の二重性を、劇のコンセプトとして成り立たせながら、それは…まあ、ちよつと解説しちゃまずいね(笑)。知らん顔して、「わあ月が出てきた、何かしら」「あつ、月が上がるわけだ」光が入る。「あつ月だわ、ドロドロドロドロと、何かが始まる。そういうスリリングなさ…。

山口 蜷川さん、スタッフに何かしゃべる時だいたい、いつもそういう調子ですか？

蜷川 ううん、こういうふうにはしゃべらない。

山口 でも説得力ありますね。

蜷川 「月がパァー」とか、「クレインは？ 音は？」とかね。「月が上がるだろ、お客はハツとするだろ。ライトがそこでサツと入ると、下で舞を舞つて」とかワーツとやるわけ。それでイメージがいいと、みんなは、仕方がないから、「じゃあそつくりの探さなきゃ。いくらだ？」なんてゆうのを後でやるんじゃない(笑)。だから、もうその迫力で、自分が現場に行つて思つた迫力のまま、今みたいにしゃべっていくわけね。説得していくわけ。これは反対したら怒るかなって内心思わせるように。で、後は知らない、で帰っちゃう。すると、今度はみんなが、お金の計算とか、クレインはいくらだとか考えてくれるんだよ。でも、俺は人工の月が出たらいいだろうなという、その確信だけはあるわけだ。それはどうしてもやりたいから、「これがやれないぐらいだったら、もうやめた方がいいや」なんて言うわけだよ。

山口 その辺にこだわんなきゃ何も出来ないですものね。やっぱり一個でも妥協すると、



全部がバアになっちゃうことがあるしね。
蜷川 俺にしてみると、今までの野外劇で、人工の月というのは見たことない、と思うわけだ。自分の中で世界を点検するのね。それでね、真似するために世界の写真を見るんじやなくて、真似しないために、いろいろな資料をバアッと見てみると、「あつ、にせの

月がクレインで上がった芝居はない。じゃあこれは俺のオリジナル」(笑)。そこで俺は喜んでるわけ。それだけを支えに、後は創っていく。今、にせの月までは出来ていて、月の先はないのね(笑)。
山口 でも、本願寺の空間っていうのは、すごくいいんじゃないですかね。

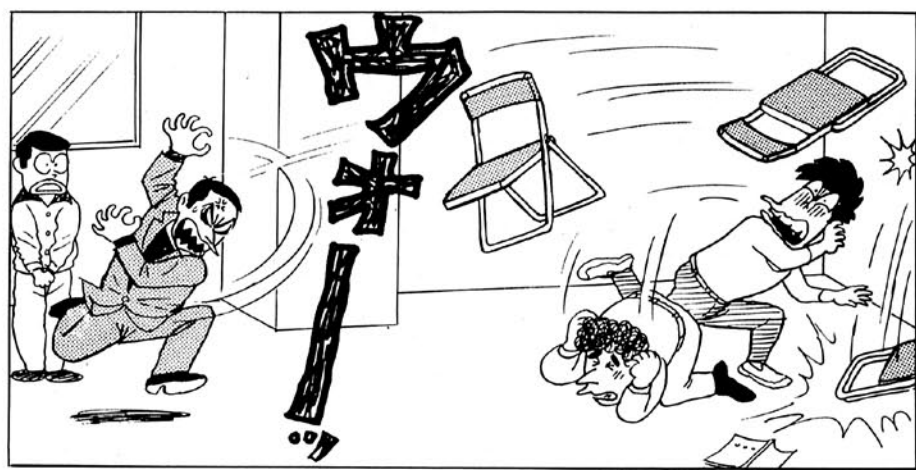
わけたから。
蜷川 そう。
山口 そういった意味で、割と幸福なことでしょう。
蜷川 それはそう。だから、俺は、孫悟空みたいな、ふっと毛を抜いたら、違うのがパンと出てくればいいんだよね。そうしたい、んだけど、どうしても変なところで、ストイックなところがあるじゃない。で、ネタが割れちゃうんだ、正直だから。
山口 やっぱ根本的に破壊論者じゃないっていうのが…。
蜷川 そうそう、どこかでこう統合したがる。山口 まともないね。
蜷川 うん、そのへんのセコサがたいたい大衆性なんだね。
山口 自己分析(笑)。そこまでムチャクチャやると、天才かどちらかになっちゃうから。こう、相手にされないとか…。
蜷川 そう、俺は天才じゃなくていい。ほどほど(笑)。
山口 ほどほどでありながら、これだけやっていうのは困った状況なんですけどね。
蜷川 でも、そんなに長く体力も、それから自分の何ていうかな、緊張感を持続出来る精神力ね、それがもうすぐ衰える予感がするな。まあ、そう言いながら、結構、ここまで来てただけだね。
山口 だから、そのためにも分身在、あるわけですよ。あちこち置いとくとか、勝手にあちこちでやっちゃうというが、出来てくるわけだから。
蜷川 でもさ、自分がヒョコヒョコしてだめだと思ふ作品をやっている時は、俺は、自分の語るスピードが無くなると思うよ。実際みっともなくてお前なんかには会えないよ。やっぱ威勢がいいうちにバアッとやってさ。お前にバカにされるくらいなら、俺はもうひっ

込んでるよ。みつともなくて、やってられないよ(笑)。
山口 蜷川さんは、物ぶつけられるうちは大丈夫ですよ。
蜷川 最近の一番すごい、椅子三個ついでのがあった。
山口 椅子三個？ 誰に？ 誰でもいいけど

(笑)。
蜷川 若いヤツに。
山口 壊れました？
蜷川 ううん。パイプだったから壊れなかったけど、ザーツと飛んでいった(笑)。
山口 三個まとめて？ 一個ずつ？
蜷川 一個ずつ。ワーツ、ワーツなんて、跳

びはねてたよ。
山口 村井さんが止めたりしないんですか？
蜷川 止めるわけないよ。黙って横向いてるよ(笑)。一番悲惨だったのが、ハンバーガー投げた時。
山口 ベチャツとなつた…。
蜷川 散るんだよ。そしたら村井のヤロウ取りに行かねえんだよ。で、自分で取りに行つてさ、マクドナルドの紙とかね。ピクルスがとんでいるのを、その紙に(笑)。あれはちょっとカッコ悪かったよ(笑)。なんか、あれは陰惨なんだよな、食いが散るっていうのは。状況劇場になっちゃうんだよ(笑)。陰惨な感じがするね。パイプの椅子の方がまだいいんだよ。ハンバーガーだと、粒々がこう、とんでね。あれはすごい自己嫌悪だった。「しまった」って。スポーツの爽快さが無いんだよね。
山口 あつ、それはありますね。
蜷川 やっぱどこかで、何ていうのか、力学で残しとかなきゃね、爽やかな風は流れないわけだよ。隠微だね、粒々になっちゃうとだめだね。
山口 ピクルスとケチャップね(笑)。
蜷川 玉ねぎかなんか、こうやって指で拾って(笑)。演劇エリアにとんでいるんだから。
山口 演劇エリアにね。
蜷川 こうやって帰って来るだろ、紙に包んでさ。みつともないよ、あれ。みんな見ているんだから、青ざめて。俺が拾っているのを最大の失敗だ(笑)。去年、今年はまだないよ。

蜷川 決まりはこれか。なんかすごい悪いやつみたいじゃない(笑)。こいつはおちよくりの記事になるぜ。(未完)
山口 ほんと。そうだと思う。
蜷川 こうやってダメになっていくのかね。
山口 蜷川さん、割と計算高いから、それはありません(笑)。
蜷川 決まりはこれか。なんかすごい悪いやつみたいじゃない(笑)。こいつはおちよくりの記事になるぜ。(未完)
山口 ほんととすよ。
蜷川 森繁(久弥)も同じこと言ってたぜ。「お前、今、何やっても大丈夫な時期だから」って(笑)。
山口 ほんと。そうだと思う。
蜷川 こうやってダメになっていくのかね。
山口 蜷川さん、割と計算高いから、それはありません(笑)。
蜷川 決まりはこれか。なんかすごい悪いやつみたいじゃない(笑)。こいつはおちよくりの記事になるぜ。(未完)



普段はこれで迫力と緊張感が出るのだが…

投げるものを間違えると…

山口 かわいいですね。

●公演予定
「オディブス王」
5月1日(木)〜8日(木)
(雨天・予備日 9、10、11日)
東京築地本願寺境内特設会場
☎59118100・7633

遠藤ミチロウ インタビュー

真っ白からの出発



photo 徳田正義

音のデカさで群集に対抗

「今度のイベントの話は、遠藤さんから、やるうってもちかけたそうですが。」

■そうす。前に一度、対談集で蜷川さんと対談しているんですけど、その時は全然知らなくて、演出で有名な人だっってことぐらいの知識しかなかったんです。で、紹介されて会ったらスゴイ面白い人でした。対談も盛り上がっちゃって。それがきっかけで、ぼくの奥さんが「三人姉妹」を見に行つて、すごく面白かったっていうもんで、ぼくも次のから、見に行つたりしたわけです。

その頃、ぼくはちょうどライブの方向性をエンターテイナー的な方に向けて行こうかなという時だったんで、蜷川さんがずっとやって来たエンターテイメント的要素に興味あつたし、何回か見に行つてうちに、逆に今度はおの劇舎蜷川スタジオの無名性というか、全員新人っていうのも面白いなと思つてたんです。

そのあと、ぼくは「オデッセイ」の3連作を作りまして、それは、ぼくの場合たまたま歌であるけど、演劇でも漫画でも映画でも、何にでも転用できるものをやろうかな、と思つたり、じゃ演劇だったら誰がいいかな、なんて、考えたり、いろいろ計画はしていたんですけど実現しないで、そのあと、蜷川さんに3連作の一枚目のデモテープが出来た時点で聞かせたんです。そしたらやりましょう、ということになって、すぐ乗つてくれたんです。最初は、いわゆる大きなところを考えていたから、野外でやりたかつたんですけどね。野外でやりたいつていうのは、特になにか考えてたわけですか。

■うーん、やっぱり蜷川さんの演劇を考えたからつていうか、「王女メデア」なんか見ましたしね。あれだけ空間を使える人っていないし、蜷川さんの良さを出すなら野外だつていう気がありましたからね。

それとぼくの場合、コンサートというのが

バンドの共同幻想

——遠藤さんも、昔はスターリンというバンドをやつていたそうですが。

■そうです。それで解散して、今のところソロというかたちでやつてるわけですけど、プラスマイナスあるんですよ。バンドはコンビネーションが非常に大事なわけで、それがあれば、ある程度のテクニク要素はカバーできるし、下手さも良さに聞こえちゃうつていうところがあるんですよ。

ただ、ぼくが今一人でやつてるのは、その形の方が便利だからつてこともあるけど、もう一つ、バンドという形態は、集まるための一つの幻想が必要なんです。何でもいんです。「みんなて成り上がろうぜ」でも、「こういう音の世界を創り上げよう」でも、何でもいから共同幻想が必要なんですけど、それがなかなか難しい時代になってきたな、というのがありますね。今、唯一あるとすれば、「全員でアイドルにならましよう」ぐらいしかないでしょう。成り上がろうつて発想さ、ビートルズや矢沢永吉で終わっちゃつたというか、もうそれでは行けないなあ、という感じですからね。テレビに出ましようというアイドルごっこはなくなつたやつたのかなくて、思いますね。ぼくはずつと、そういうバンドの共同幻想を探ってきた方なんで、やっぱり最終的には、今までなかったような〇〇バンドつていう、集団でやりたいな、という気持ちがあるんですよ。

——最後に、いわゆる練習つていうのはないそうですが。

■(笑) ぼくにとつて、やっぱり一番の練習はライブですからね。演奏すること自体が練習だから。でも、毎回ステージつていうのも怖いことは怖いんですよ。慣れちゃうから、でも、ぼくはやらなくて慣れないよりは、やつて慣れて、それをまたぶち壊していったら、もつといいな、という考え方ですからね。



密室ですからね。その密室のワツをとつぱらつてやりたいなつていうのがあつたんです。それがたぶん、究極のところやりたいことなんです。

だいたひ密室の方が虚構にするのは簡単なんです。飾り付けてワツとやつて、照明でいくつでも変わつちゃうし、野外は、どんなに照明あつても、やっぱり既にある自然そのものだから、それを虚構の世界に持つて行くには、ものすごい想像力とかコンセプトがないと出来ないと思ふんですよ。それが大きければ大きい程、参加させられた客の方も別世界に飛んでいるのではないかと思ふしね。やつぱりにせものつてわかつているより、本物がにせものに見えてくるというか、別の本物に変わつてしまふ、というううう大きな展開があつた方が、客の方もね、受けた想像力の刺激がすごいんじゃないかと思ふているんですよ。

——もう具体的イメージは二人とも……

■一、二回話をしたときは、お互い真っ白だね。と……。今までやつて来たことが真っ白になった、という状態をまず基点にしているわけですね。ぼくなんか、今度のレコードのタイトルが「破産」というぐらいで、全部パーになった、みたいな所から始めるという感じですね。

聞くとところによると、壊し合いをするつもりだとか……

■(笑) 歌をうたつてるとき感じる肉体つて、演劇の肉体と全然違うと思ふんですよ。だから、それが同じ場所におかれたら反発するところとか喰い合うところ、融合しちゃうところと両方出てくるはずだし。もつと具体的な話だと、ぼくらは音デカイでしょう。でも蜷川さんの方は、基本的にいわゆる生だけでやる、そういう落差つてのは大きいんですよ。それをきつと蜷川さんは群集というやり方でくると思ふんですよ。で、群集劇というやり方でこれると、今度は圧倒的に量でぼくは太刀打ちできなくなっちゃうし。どうなんのかなあつて気がしてますね。

●公演予定

遠藤ミチロウ×蜷川幸雄

オデッセイ・1986・破産

5月16日(金)~20日(火)

ベニサンビット

☎ 207-3234(BO)

●遠藤ミチロウ 一年半ぶりのフルサイズ・ニュー・LP「破産」が5月21日に発売されます。

演奏・ミチロウ&ゲイノール・ブラザーズ

●遠藤ミチロウ&ゲイノール・ブラザーズ

コンサートスケジュール

5月29日名古屋創造芸術センター

6月5・6日仙台マホール

6月8日岩手教育会館大ホール

6月10日帯広福祉センター

6月11日札幌大谷会館

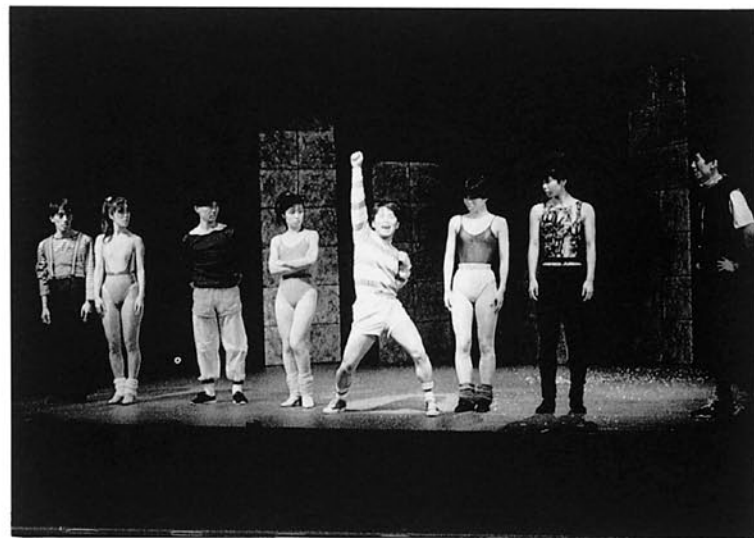
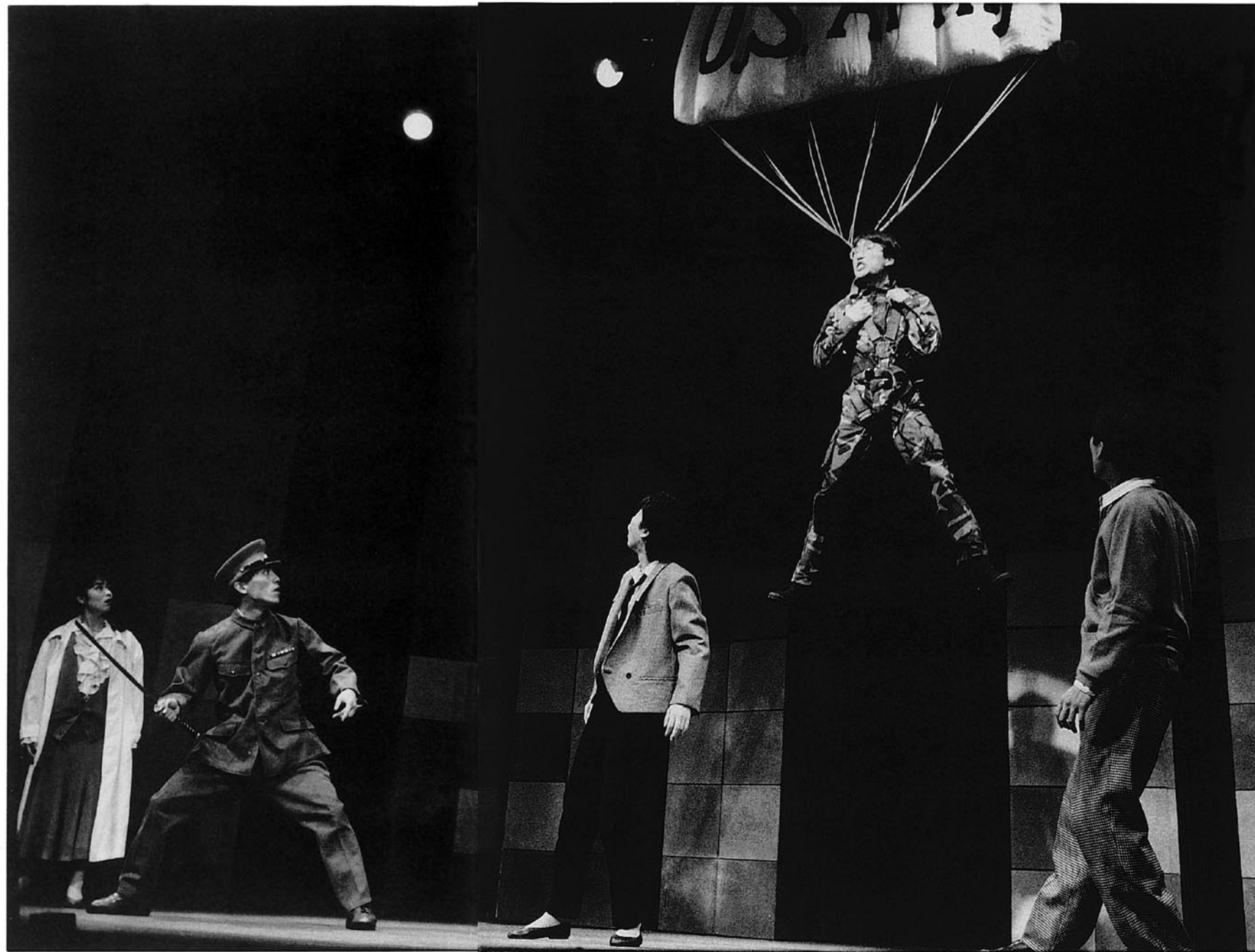
その他、5月、6月東京&大阪、予定あり

5月30日新宿ロフト10周年記念ライブに出演

デジャ・ヴュ'86

作・演出 鴻上尚史

DEJA-VU'86



突如、E・T (empty theater) アメリカ軍のかっこうで、空からパラシュートでふってくる。

全員驚いてそれを見つめる。

E・T ヘルプ、ヘルプミー！ アイ・アム・US・アーミー。アイ・アム・フロム・オクラホマ、オクラホマ！

北林 敵だっ。

伊集院 殺せよ！

秋田 やめろ。彼はもう非戦闘員だ。ジュネーブ協定により、捕虜として保護すべきだ。

伊集院 バカを言うな。米兵を助けてどうする。一人一殺、忘れたのか。

伊集院 日本刀を持ってE・Tに近づく。

E・T ヘルプ、ヘルプミー！ ドント・キル・ミー。アイ・アム・フロム・オクラホマ、オクラホマ！

北林 何て言ってるんです。

秋田 助けてくれ。殺さないでくれ。自分はオクラホマから来たと言っている。

伊集院 ええい、ごちやごちやとうるさい。

E・T イフ・ユー・ヘルプ・ミー、アイ・チ・ユー・オクラホマミキサー！

北林 (秋田を見る)

秋田 もし助けてくれたら、オクラホマミキサーを教えると言っている。

北林 オクラホマミキサー？ 何ですか。

秋田 分らん。しかし、なつかしい響きだ。

E・T オクラホマミキサー・イズ・ベリー・ファン・アンド・ハッピー・アンド・インタレストイニング！！

秋田 オクラホマミキサーは、とてもおもしろく、楽しく、興味深いと言っている。伊集院さん。

北林 何だ。

伊集院 教えてもらいましょう。

北林 何を言いたすんだ。

時 吾作さん！

伊集院 名前を言うなと言っただろう。でも、吾作さん。

(「デジャ・ヴュ」新水社刊より)

●キャスト

大高洋夫
小須田康人
名越勇昭
伊藤正宏
寛利夫
長野里美
山下裕子
筒井真理子
京晋佑
根津勝
相川由美
藤谷美樹

●デジャ・ヴュ DEJA-VU (公)

既視感、すでに見た「メ」があるような錯覚

●細野不二彦のマンガ「Gu Guガンモ」にガンモのライバルとしてデジャブーという名のキャラクターが登場します。もちろん芝居とはなんの関係もありません。

●「デジャ・ヴュ」鴻上尚史著 新水社刊

この本は戯曲としてももちろん卓抜した面白さですが、とくに上演記録、手びきがなんとも楽しく、最高です。6月上旬には改訂版の「デジャ・ヴュ'86」も出版されます。





伊藤正宏

S38.3.25 生
大阪府出身
血液型=A型

「お友達疲れ」

良いお友達ってのは気苦労が多いわりには実入りが少ない。そんな、お友達の中のお友達、お友達界の王道を23年間も地道に歩んでくるとさすがに疲れる。「良いお友達でいましょうね。そんなコトバもすっかり聞き飽きて、それじゃあ、と悪いお友達にでもなるうかと考えていたら、その筋の関係者から「もう遅い」と言われてしまった。そこで最近では少し視点をずらして、嫌な奴になるうと努めている。これならなんとかなりそうだ。

S33.8.2生
愛媛県出身
血液型=B型



――六月の公演のことから。

●核戦争三部作の最終篇に、『プラスチックの白夜に踊れば』って作品があるんですけど、とうとう核戦争が起ってしまったあとという状況設定で、その廃墟に生き残った人たちが物語を創り出して、その物語の中で右往左往うめくというような芝居です。

うしよとかと考えていたんです。この芝居は岩谷とその当時いたわれわれとの関係性の中でできあがったものですから、題名を永久封印しようと思ったんです。それで新たにタイトルを変えて、「スワンソングが聴こえる場所」という。「スワンソング」というのは遺言という意味です。もちろん、大幅改訂です。中止になってから、丸二年、新しい作品になると思っています。この芝居では、いわゆる物語っていうのをやってみようと思ってます。

第三舞台に限らず再演が多いですが、再演はなにかといわれやすいでしょう。

●そうすね。でもね、名作をやり続けろっていうか、新作で衝撃の舞台をつくれとかねそれはばくは時間さえくれば、半年くらいれば、やる自信はあります。ただし、その半年間はね、雑多なこと一切ないって条件付きでね。ぼく、いつも不当に思うのは、映画監督にしろ、ミュージシャンにしろ、制作がわりと煮詰まってきたら、周りが気をつかってインタビューなんか一切とらないでしょ。でも演劇人がね、今日初日だからとかやると、とんでもねえやつだとかいわれて憂鬱。そういう社会の矛盾を一身に背負ったね、演劇人に対して、再演だからって機械的にじゃけんにするっていうのはね、ちよっとあんまりだというのは、ありますね。なんか片親しかいなくて思わずグレてしまった中学生にむかって、あんたは弱いといてるようなね、無責任さを感じますよ憂鬱。

——半年に一本つくっていいける状況にしたい

●ええ、私個人としてはね、食えるんならそ

うしたいですけど、食えないですからねえ。
これは無理ですね。ま、最近考えてるのは、なるべく労多くして益の少ない仕事はお断りしようとかね。まあ、そんなぜいたくしなれば、三度の飯が食えればいいわけて、だってほんの一年くらい前までは、ばくは五〇〇〇円は二食だって感触ありましたからね。ほっかほかののり弁を二回食えるとかね。稽古場に行くにお金がなくて、思わず交番へ行つて五〇〇円借りて稽古場に來てしまったとかありましたからね。そういうのさえないければまあ、ふつうにボケットの中に二千円入つてるみたいな世界があれば、この程度でいいんだなつてことがわかつてきたから。やっぱり量を少なくして、準備を上げるつて方法しかないでしょうね笑と、思つてもなかなかなか

すみません。

●いやや愛まあ再演ついてもね、また大分書き直すから楽しさはわりと同じなんですけどね、やるほうは。もし再演が悪いっていうなら、まったく同じ再演ついでうやつね。それも二回までは許せるけど、それ以後はまずやつてるほうが飽きちゃう。作品の寿命つてありますからね。

——やってる同士っていうか、鴻上さんにと
って役者との関係っていうのは。

あのね、芝居知らない人から、役者を愛してるかってよく聞かれるのね。愛してなきゃできないわけだから……。ただ、愛の裏にはね、相手が輝かなくなったらもう愛さないっていう、ものすごくシビアな感覚が絶対あるからね。やっぱり役者が輝けば輝くほど、そいつに對する思いはとことん深くなるし、そいつのためならもう終わってもいいとかね。いつのためなら何でもしてやろうってのがありますね。やっぱり、愛っていうのは、見つめあうことでも、傷をなめ合うことでもなく、同じ方向に歩いていくことです。とまでは、恥ずかしくて、僕は言いませんけどね。

●鴻上尚史氏が3月10日〜22日まで、朝日新聞の夕刊に書いていた「しここの周辺」というコラムの評判がすくなく、という話を、朝日新聞の人から聞きました。某宗教団体の集会のテキストにもなるそうです。イジメや恋愛などの問題に、真正面から取り組んだもので、マジメな鴻上さんを知りたい人、今、悩んでいる人は、ぜひ読んでみて下さい。

●長野里美さんの原稿は本のカバーを破いて自分で線を引いた、大変ユニークな紙に書いてありました。左のものが紙の感じがでないのが残念です。

உள்ளே இருக்கிறார்கள்.

[illegible]

☎ 03-367-0292

ニッポン・ウォーズ

作・演出——川村 毅



Q う、ぐぐぐ。 (としゃがみ込み)

上がった。 (と飛び) 私、私、私、あのサンセバスチヤンの攻防でナバーム弾によってベニスを焼かれてしまったのを、知ってるだろう、J。

J ハッ。でもタマタマは残っているでしょう。

Q 確かにタマタマはたまたま焼かれずに済んだ。臭いジョークだ。私はあの時以来、射撃の瞬間のめくるめくような陶酔を味わっていない。この痛み、分るかね、J。

J ハッ。

Q 嘘をつけ。(とJの股間を殴る)

J、しゃがみ込む。と、二人一人の股間を握っていき、

Q よろしい。相変わらず君達は元氣だ。紹介しよう。新しく従軍してきた戦場コンパニオンのライト君とレフト君だ。

ライト) よろしくお願ひします。

一同、勢に本音によだれを流し始める。

Q 君達、恋愛はしておるかね。一同 はい、していません。

Q よろしい。恋愛は人間の想念を後退させる。君達、新しい人間は恋愛などにかがずらあってはいかん。ほら、一番てつと早い我々の恋愛だ。

とライト、レフト、バツと股を開く。と、一同、勢に群がるが、

Q 見苦しい。順番だ、並べ。と、並ぶ。

Q よろしい。それでこそ新しい民主主義だ。

●キャスト

I 深浦加奈子
O' 有園芳記
O 海老原洋之
R 石井浩二郎
J 宮島 健
B 田沢文博
P 保月ゆかり
M 香取早月
F 村松泰子
K 木村昌子
ライト 芳地隆之
レフト 川村 毅
Q 將軍 堀田和彦
スー・エレン(賓) 黒沢幸代

フアイティング メッサーズ

川村 毅



都市

魅力を感じる都市は、ニューヨーク、東京、そして西ベルリン。去年の公演の「新宿八大伝・第三巻ベルリンの秋」にも、ベルリンを登場させたけど、何となく今、西ベルリンが気に入っている。

今度の「ラスト・フランケンシュタイン」も、舞台は現在の東京と西ベルリンで、その西ベルリンの科学研究所に、世界中の科学者

空間

今、やっぱり芝居をする上で興味があるのは、大きな空間。さんざん、もう、小さい空間で何年間もやって来たからね。もし小さい空間でやるとしたら、2、3人しか出演しない濃密な芝居しかやる気がしない。今の第三エロチカの規模だと、絶対に大きな空間がいい。劇場も含めて。

ぼくらの場合、「ぼくらと言っているのかどうか分からないけれど」もうプロセニウム・アーチを否定していくという感じはない。唐（十郎）さんや寺山（修司）さんがテントへ行ったり、市街へ行ったりしたように、劇場の外へ飛び出すということが、非常に冒険で

が集められて、自殺病と超能力の研究をする。それが実は、裏では人間人間の開発研究をしていたという設定で、話は展開していくのだけれど、なにしろ、ソ連でもアメリカでもない別の場所という意味で、何か面白いところがあるような気がするし、気になる、興味がある、という感じだな、西ベルリンは。

あるという時代ではないからね。

ぼくは、寺山さんの市街劇なんかのコンセプトは決して嫌じゃやない。だけど、もう今やると茶番だね。ドッキリカメラにもならない。劇場の外の現実の方が非常に勝っている。そういう意味で、全部が均質化してしまっただから。だからテントでやるのと、劇場でやるのと意識はそう変わらない。いかにも劇場らしいところでやる場合も、ここをいかにして自分たちの内部から照らすか、いかにして、プロセニウム・アーチに依拠しつつ、ズラしていくか、考えていく。演出と作品でね。それが戦略だと思う。

人造人間

ぼくのアンドロイドはエイトマンでも、サイボーグ009でもない。つまり機械じゃなくて自分たちの比喩として、感情を信じられないとか、自分の記憶さえも信じられない、いつてみれば、ぼく自身ではないか、ということから始まっている。

今度は、それを、さらに押し進めて、超人類みたいなかたちで、フランケンシュタインを登場させて、今の自分たちの気分みたいなものを、フランケンシュタインに託してみよう。そんなことをやってみたくて、シエリー夫人のフランケンシュタインと、B級ホラー

に出て来るフランケンシュタインの世界からちょっともらって、ぼくが「第三エロチカの形而上学的B級ホラーの世界」と呼んでいるようなものを、作っていくかな、と思っている。

役者

役者修業にどれが絶対だというものはないと思うし、上手い役者と下手な役者という判断基準をどこに置こうかというところだ。いわゆる個性を磨けばいいのだから聞かれると、ちよつとそれと違ふ気がする。つまり、人の持つ個性と

か性格みたいなものには、疑問を持っているんだ。

そういう意味では、ぼくの考え方は今までの肉体信仰、個性信仰とちよつとズレているんじゃないか、と思っているし、じゃあ、具体的にどうやって演出するのかって聞かれる

と、あたしやスタイルを持ってない、といういい方をするしかない。

結局、何に依拠してやっているのかっていうと、今、目の前にいる二十何人かの役者の現存在じゃないんじゃないかな。

楽団

一人のスターが出て、そのまわりの役者は、それに奉仕する状況になる、というピラミッド型の劇団経営の時代は、はっきり終わったと思う。

今の若い連中が、自分がかわいくて、そのことを露骨に出して来るということは、別に悪いことじゃない。自分を殺して奉仕することなんて、絶対に出来るわけないし。

第三エロチカの理想は野球チームだね。野球は複数のスターが可能な集団だから。ただ、

スターというものをどんなふうにするかという戦略になると、面白いものがないんだ。

よその例を見てても、結局テレビでやるしかないのだから思うし、テレビに出しちゃっても面白くないなあ、って気がする。昔の新劇なんかをやったのを、結局、踏襲しているだけじゃないか、なんて感じてね。

と、あえず、面白い芝居をやり続けていく、これしかないのかな。



利賀村

野外劇は、やってみただけのものだから、去年、利賀村に初めて行って、あそここの野外劇場を見せられた時、イケると思った。

フェスティバルには、「ニッポン・ウォーズ」で参加するわけだけれど、この戯曲は、ギリシア悲劇の構造を持っていると指摘した人もいるぐらい、古典的でしっかりした骨組みの作品だから、野外劇場の祝祭の場には、非常にふさわしいと思っている。

いろいろな意味でお祭りの公演になるんじゃないかな。ワンステージだけということもあるし、観客も、電車や乗り物を使い継い

でやって来るということもある。それにまわりの自然、たとえば夜空のようなものに対抗するためには、火と水というような原始的なエネルギーを使ってやるしかないだろうから。雨が降ったら火が使えないという心配はあるけれど。(笑)

演劇が祝祭だという、さんざん言われて来た言葉、単純な構造に、逆にこだわってみたいというふうになっている。それに、いわゆるアカデミックなイメージの中に、ぼくらが行くことで、利賀村に、また違った風景が出てくればいいし、異質だからこそ面白い、というふうになればいいんじゃないかな。

●第三エロチカ公演予定

ラスト・フランケンシュタイン

6月13日～29日

下北沢・ザ・スズナリ

☎369-1127

8月利賀フェスティバル参加

ニッポン・ウォーズ

●川村 毅

「新宿八大伝・第一巻大の誕生」で第三十回岸田國土賞を受賞しました。「是非とりたいタイトルベルトだっただけにうれしい。NWAのベルトよりこれは価値があると思っています。今度はタッグのベルトに挑戦したい。」

●本誌2号、3号では第三エロチカ、川村毅が制作ノートを執筆します。6月のスズナリから夏の利賀村の野外劇場まで、どんな展開があるのか乞御期待！

転形劇場公演

やじるし

作・演出——太田省吾



photo 古館克明

●T2スタジオ公演予定

転形劇場追加公演

やじるし

5月29日～6月1日

泉谷しげる五月革命

T2スタジオライブ5月の7日間

5月6日～12日（9日別企画）

転形劇場ロングラン公演

水の駅

毎月最終 土、日曜日

作・演出 太田省吾

☎ 993-9486



キャスト
品川 徹
瀬川 哲也
大杉 謙
笹島博文
井上弘久
佐藤和代
鈴木理江子
牛山君枝
真砂恵津子
安藤朋子

「劇的狂気の力」

主催 シュウウエムラ アートシアター 制作 スコピオ・プロジェクト

JAN FAIR



●シアターブック 3号
特集 ヤン・ファール

●MAY-PROJECT

パフォーマンス&インスタレーション
参加アーティスト
スチュアート・シャーマン
ホン・スー・チェン
ジョン・デビス
5月28日・6月1日
アウラ・ホール(京王聖蹟桜ヶ丘S.C. A館
6階)

主催 I S A
(International Space of Artistic activities)
問 〇三・三八四・四二〇〇
四〇〇・一〇七五
制作 スコピオ・プロジェクト

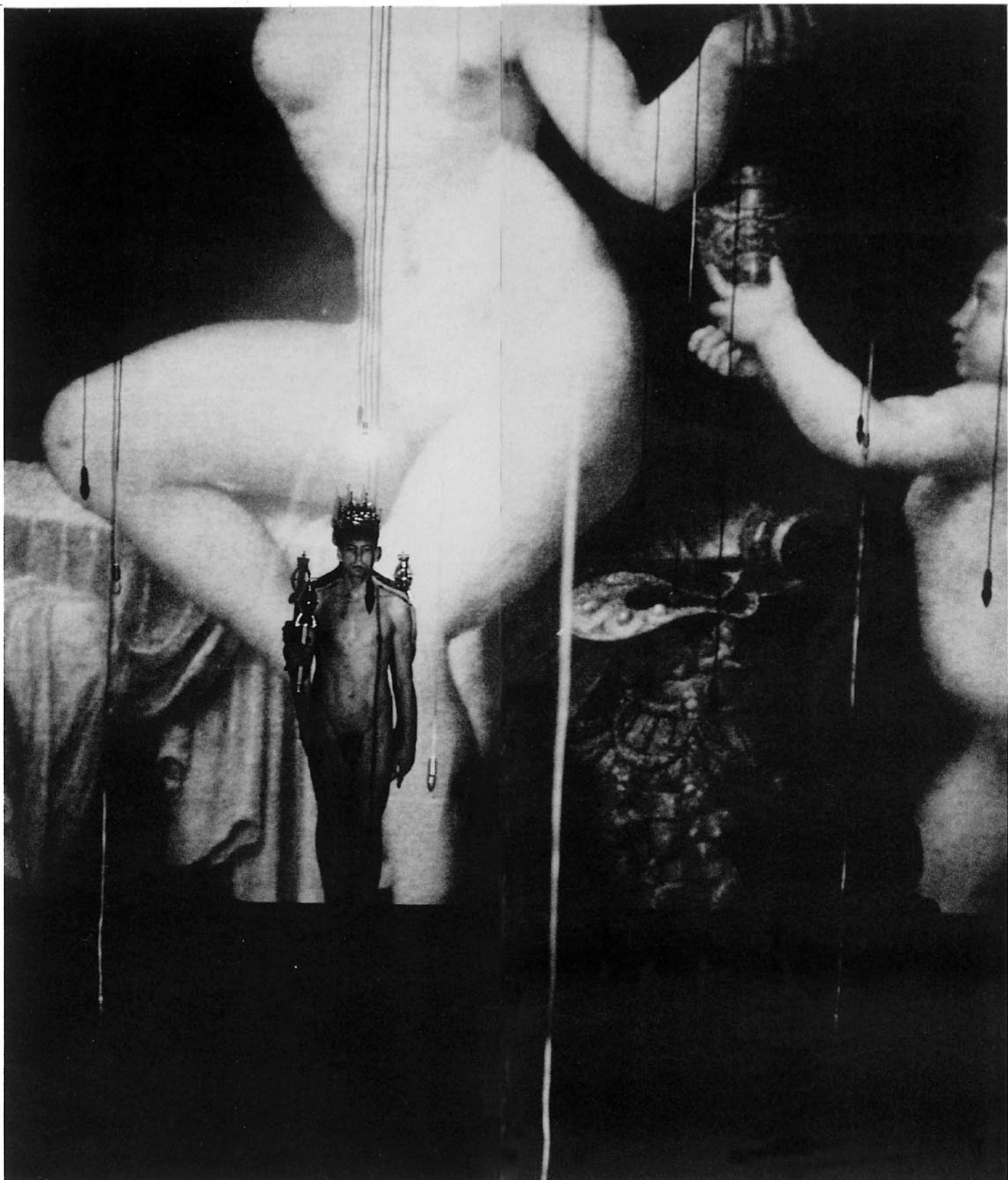


ヤン・ファール

一九五八年二月一日
ベルギー・アントワープに生まれる。
アントワープの美術工芸学院、ロイヤル・アカデミーに学ぶ。
一九七九年頃から、ヨーロッパ各地でエキジビションを催したり、ソロ・パフォーマンスとして活動開始。

演劇活動
一九八〇「Kで始まる芝居はトムキャット」
一九八二「待ち望まれ予見されていた演劇」
一九八四「劇的狂気の力」
今年の活動を最後に演劇は一応やめて、次は「オペラ」をやりたいと言っている。
演劇に興味を持った動機について、彼はこう語っている。

「僕は、いつも『芸術』の事ばかりしゃべっているような人々ではなく、サッカーの話やテレビの話とかが普通にしゃべれるような同世代の人々と一緒に、同時代の人たちとの交流を持ちたかったんだ。」



写真提供 シュウウエムラ アートシアター 秋田重治

観戦記 三角吾郎 (クリエイター)

けっこう面白かったね。狂気っていう感じじゃないけど。皿なんかけっこう沢山割っちゃうじゃない、ああいうのって、片づけるのが、カッコ悪かったりするんだけど、歌うたしながらうまく片づけちゃうし。
でもマラソンは、1時間以上やるのかと思っていたら、案外早く終わったね。コーヒー飲んで、ホットドッグ(本人注) ますかった。食いに行ったら、もう終わっちゃってたもんね。それで客席に向かって一服しているわけ。だけど、やっぱり白々しいよね。挑発的な感じでやっているんだろけど、そこまで全然いらないもの。客席は絶対安全圏だもん

ね。
シジフオスしちゃうところなんかは、おかしかったね。ほんとに役者がくたびれちゃうんだもの。
でも、へんにいかかわしさがなくて、すごく素直な感じしたね。千本ノック受け、って感じね。よく言うじゃない、体が疲れ切った後でコッをつかむってさあ。だからあの芝居も、役者がコッをつかんだりするのにいいんじゃないかな。でも見てるだけじゃコッはつかめないもんね。
薄暗かったけど、思い切りよく全裸になっちゃってんの、すごくいいよね。最後の女

の子なんかよかったね。
NHKに、ヤン・ファールがインタビューで出てただけで、イギリスの大きな劇場のボックスシートでセックスしちゃったり、観客が怒って騒いだり、舞台上上がって行ったりするらしいんだよね。その点、日本の客はおとなしいよね。なんか最後の日にちよつと騒いで帰っちゃったやつがいたらいいけど、もつとさ、つまらなかつたら途中で帰るとか、ヤジるとか、せめて最後拍手しないとかね。最近、たいがいカーテンコールがあるもんね。まあ、けっこう丁寧につくっているって感じはしたね。

(談)

注1

舞台の上の一ヶ所にとどまって、4人が有名な舞台の題名、作者、年号などを呼びながら走るシーン。

注2

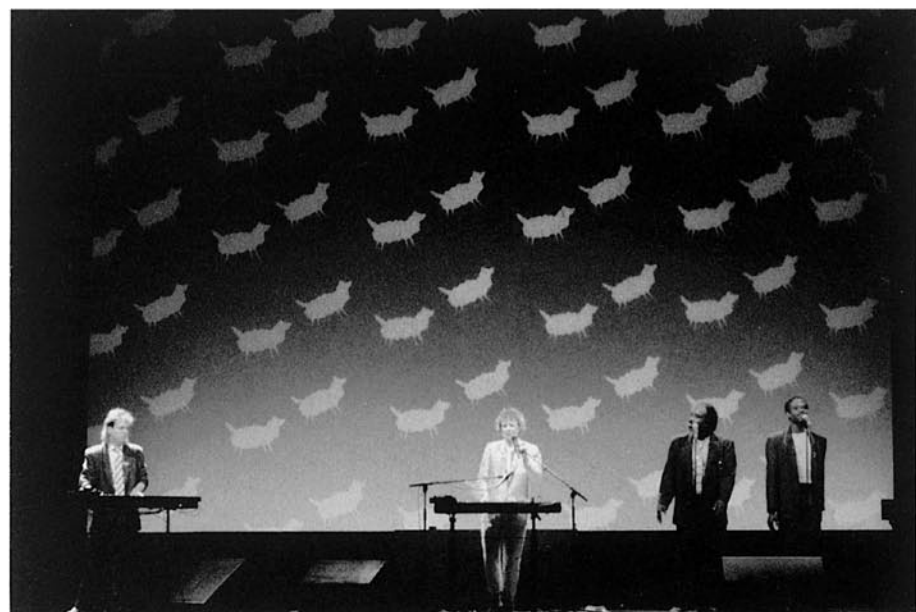
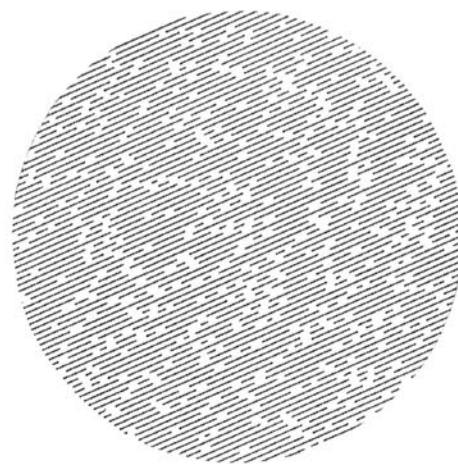
4人の男がいて、そのうち3人は女を後ろから前に、抱えて運んで来る。と、女はまた、素早く元の位置に戻ってしまう。また運ぶ。そのうち、男は全裸になって運び続ける。女のいない男は、マイペースで服を着たま、運んでいるふりをし続ける。

注3

最後に男が正装して椅子に座っていると、女が全裸で男のひざの上にうつぶせになる。すると当然、お尻が上を向く。そのお尻を男が何回も叩く。ピチャピチャという音がする。
注のおまけ
本誌編集部の井口は、昨年、なけなしの貯金をはたいて、ドイツへ行ってきました。その時、現地でヤン・ファールを見たそうですが、観劇をともにしたオーストラリアの農夫氏にこう言われたのが、印象深かったそうです。「君は、もっと自分の人生を大切にしなければいけない。」

ナチュラル ヒストリー

「アンダーソン」



写真提供 ツルモトルーム



圧倒的なステージ、スライドに映画に字幕スーパーに歌にダンスにおしやべり。どれを観ていいのかわからず、でも目にはキヨロキヨロとほんととこ観てもいいんだけど。でもやっぱりローリーに目がいってしまう。だって可愛いんだもん(30も半ばの女性に対して失礼かな)

色々な仕掛けは、原寸で伝えようとする想いのあらわれなんだろう。僕のとらえに座って40分ぐらいのおばさんなんかも、ローリーが演じる、人や動物や世界観に「クスクス」したり「ウーン」とうなったり。

そして帰る時にはローリーの「ナチュラル・ヒストリー」(博物館)でちょっと賢くなった様な気もち。

でもローリーのステージを記録するのは、むりだろうな。だってステージが終わった時にみんな終っちゃうんだもん。どーしても確認したい人は何千円でもかけて観に行くべきだね。おわり。

ローリー・アンダーソン (Laurie Anderson)

1947年シカゴ生まれ、7歳から12歳までバイオリンを学ぶ。66年ニューヨークに移住、コロンビア大学で彫刻科の修士号を取得。72年初めてのパフォーマンスを行う。81年「オー・スーパーマン」がイギリスのシングル・チャートで2位にランク、一躍ポップスターに。その後、パフォーマンス四部作「ユナイテッド・ステイツ」を完成。84年に初来日をし、日本での人気を決定的なものにする。85年自ら、主演、脚本、監督をした映画「ホーム・オブ・ザ・ブレイブ」を発表、日本でも公開の予定。

パフォーマンス・ナウ

アート時代の新表現
鶴本正三編・南條史生監

「パフォーマンスって何?」ローリー・アンダーソン／フライアン・イーノ／リサ・ライオン／粉川哲夫／筑紫哲也／海野弘氏ら内外の識者数十名によるパフォーマンス論の総決算／世紀末キッズ必読の本ノ



好評 既刊

東急エージェンシー出版部

〒107 東京都港区赤坂1-8-18
☎03(404)5311(代)
振替・東京0-180749

自由劇場創立20周年記念・オンシアター自由劇場2・3月公演

家鴨列車

アヒルレッシャ

作・田槇道子 演出・串田和美

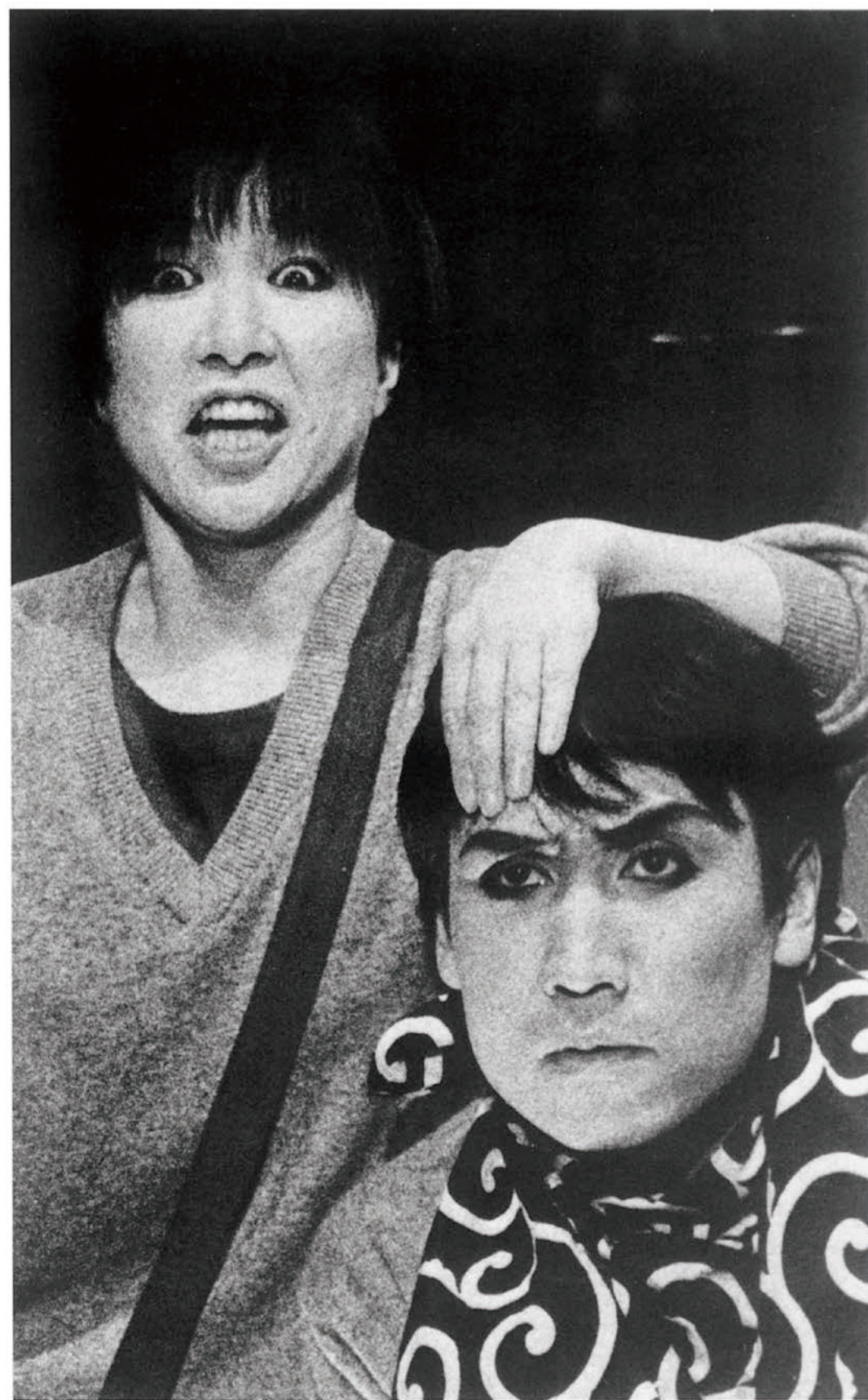


photo 井出清晃



キャスト

吉田日出子
中村万隆
真名古敬二
大森博
長内秀次

一琳

お祖さんは散髪をしながら私のタロット占いを聞くのを楽しみにしているのよ。人に頭を預けている時には、そうそう自分の考えに閉じ込もっているのも至難の技じや、ぼかんの出たら目なタロット占いで、死神や恋人や魔術師の間をさまに遊んでいるうちに、何かしら真実らしき姿が現れてくるから不思議なもので。だって、その日のタロットがうまく出来上がった時にはお小遣いを弾んでくれるのよ。幻術使いの民に易々とはまり込むとはお祖さん人々の好い話だ。僕は生憎そうお目たくはできあがってないんね。妹のお慰みに付合っている余裕はない、さっさと刺してくれ。

佐介

●オンシアター自由劇場5月公演予定

Work No.1

5月1日(木)～31日(土)

六本木・自由劇場

作・斎藤操 演出・串田和美

☎404-3891

二・三月ロングラン特別公演

ヤマトタケル

作・梅原猛 台本・演出・市川猿之助



写真上

小唄会(のちのヤマトタケル) 市川猿之助

写真下

新装版タケル 中村信二郎

●「ヤマトタケル」公演予定

○5月5日(月)～5月28日(水)

名古屋・中日劇場

○6月3日(火)～6月27日(金)

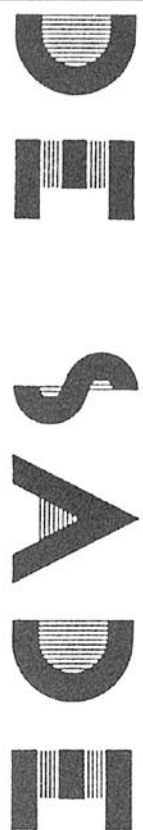
京都・南座

○11月凱旋公演

東京・新橋演舞場

サド侯爵夫人

作：三島由紀夫 演出：ソフィ・ルカシェフスキー



国立シヤイヨ劇場、テアトル・ジエミエでの三島の『サド侯爵夫人』は、とにかく、毎日満杯で、必ず予約が必要でした。パリは今、三島ブームです。

舞台はシンプル。光沢のある布地をバックに、水色のプラスチックを舞台全体に張りつけてあり、ギリシャ風柱が右端に1つと、椅子が2個ぐらい。それに左の方から、役者が花道として出られるようになっていて、日本の歌舞伎舞台を思わせます。

衣裳は、きらびやかな鹿鳴館的なものに、日本の着物風なものを付け加えたヨーロッパ風女形のようです。

役者は、自身が女性でない別の女性、になり切って演じているので、男性が演じていることを忘れそうです。サド侯爵夫人など、女性的な美しさを肉体的に持っていたように思えます。また、サンフォン伯爵夫人のプラスチックゴムの乳房は、よくできていて、一瞬、本ものかと見間違えるくらいです。



ソフィ・ルカシェフスキーとのインタビュー

「なぜ三島のサド侯爵夫人を演出したわけですか」

「五年前にこの本を読み、その時に男優に女形をやらせたら面白いのではないかと思いました。そして、二、三年前に、役者にとつての劇の役割、ということについてひらめきがあって、それをやるためには、この三島の作品がうってつけだったわけです」。

「サド侯爵夫人の演出の難しさは？」

「フランスでは多分、この演出で初めて、全ての男優を女形にしたと思いますが、やはり最初は、果たして出来るのかな、という危機感

はありました。でも、なんとか意に叶うものができたと思います」。

「役者は女形をどう受け取りましたか？」

「役者として最大の喜びとして、受け取ってくれましたし、仕事としても、やり甲斐のあるものとして受けてくれて、実際、稽古の最中に、役者としての、本当の幸せのようなのがありましたね。もちろん無理な、強制的な稽古でしたが、これが結果的には、幸せの源になっても、苦痛の源にはならなかったようにです」。

「私自身としては、芝居をすることは苦痛を通してではなく、喜びを通してするという概念はあります」。

「劇評はいかがでしたか」

「ほとんどの劇評はよかったですね。恐ろしいということ、ただ一紙だけが悪かったみたいです。それにこの三島のサド侯爵夫人は、'86年においては、全く現代劇とも言える劇で、現代のフランス演劇の動きの中で、アール・ヌーボーだとの評があり、本当にうれしくてたまりません」。



グレゴワール・オステルマンとのインタビュー

サド侯爵夫人役の男優（30歳）

「女形をやることに関してはどう思いますか」

「自分が役者としてこの役をやることを光栄に思っていますし、男性が女性の役、女性が男性の役をやるというのは、役者としての夢でありファンタズム（幻想）だと思っております」。

「そして、もちろん個人としても、以前からこういう幻想はありました。全ての人間には、異なる性になる、ということへの幻想はあるでしょう」。

「スカート、コルセットをつければ違和感はありませんけれど、真の女性ではない、別の女性、になりますね。それに、この役を演じるために女性の動きを、特別に研究したわけではないのですが、息の使い方がとても難しいと思いましたね」。

（インタビュー・報告 佐藤）

●取材・撮影 カダランス



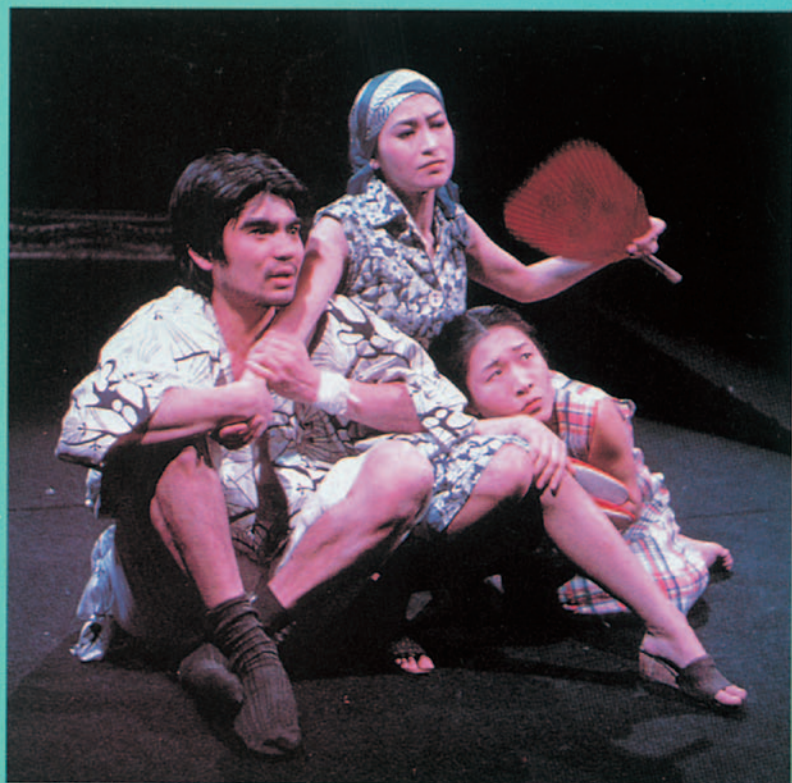
●ソフィ・ルカシェフスキー

一九五五年生。父はロシア人、母はフランス人。

アントワン・ヴィテズの演劇学校を卒業と同時に彼と一緒に演出の仕事をするようになる。演出だけでなく彼女自身も演劇、映画俳優として活躍し、ゴダールの『パッション』などにも出演している。

千の眼のカデシツア

作・演出——渡辺えり子



三人布団を出してまた閉じる。

大丈夫なんてすか？

大丈夫でねえから寝たきりよ。

まさかあの人、あなたの父さんじゃあ。

冗談じゃねえ、あかの他人よ。旅の人。

え？

実はオイラもそうだったのよ。

息子と女房と二人で家族旅行に出かけたのはあれはいつの日だったっけ。おいてばかりくちまっつて、散歩にでかけた女房と息子をこいて待ってるうちに、いつの間にかやう番頭になっちゃった。

死んだんですか？

バカな？なんて死ぬんだ、死んでたまるか。今に帰ってくるさ。

くそ。

林を抜けたから、

あの林は悔恨の林、

通った人は帰れない。

林？

さつき通ったろ？

水たまりのある林。

水たまり？

昨日から今朝にかけて雨が降ったから。

横溝正史風の沼のことすか？

沼だつて。

ハハハハ。

あんた野天に化かされたね。

ええ？

あそこにあるのはちっちゃな水たまり。

化かされたんだよ。

野天が化かすんですか？

街の人が下からやってきて、あの林に天や猫を捨てるのさ。

それが死なすにね、いつの間にか野生化して、何匹もあそこ

にね。

可愛そうに、人恋しいのさ。

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

ええ？

千の眼は手にとれば石ころ 遠くになれば美しい



●公演データ
3月14日〜4月13日

高橋 千里 新谷一洋

高橋美智子 木村まさこ

仲居B

高橋 良太

番頭 藤堂貴也

高橋小夜子

仲居A 光永吉江

百子

静夫 白石植

ブナノ木 老女

仲居C 渡辺えり子

和歌子

風上旅館の主 東銀之介

少年 豊川悦司

※初めての試みとして、本公演と同じ演目の

若手公演を組み込みました。

渡辺えり子 インタビュー

取材構成 日吉真仁

洗練された都会的な芝居は他でも
やっていますから
私達は良い意味で野暮ったい芝居を
やっていきたいですね

えっ、次の公演予定ですか？
具体的なスケジュールはまだ決まっていな
いんですよ。

昔と違って、今は台本が出来た、さあ芝居
を演ろうと思っても、その時には劇場のスケ
ジュールは、もうずつと先まで埋ってるん
ですね。

それで劇場を先に決めて、劇場の日程にあ
わせて芝居を創っていく。このところそうい
うやり方をしてきた感じがあります。

これからは公演日程を先に決めるといふよ
り、作品中心というか、自分達がやりたいも
のを準備し、作品をキチンと書いて、また練
り直して創ったものを、時間がかかっても演
出の立ち場でやりたいと思っています。

大勢のお客さんが見に来てくれるというこ
とも大切ですが、それよりも自分達が苦勞し
てやってきたものであるというのが大事なん
ですね。

今度、久しぶりに小さな劇場に戻って、初
心に帰るといふか、旗揚げした頃のように衣
裳や小道具も自分で作り、手作りの舞台で
この公演に臨みます。

一ヶ月の長期公演は劇団にとって初めてな
んで、みんな色々大変だと思ってるけど、この手
作りの舞台で、自分達はホントに何をやりた
いのかをもう一度確認し、周囲に振り回され
ることなく地固めしていきたい。また今後の
こともじっくり考えてみたい。そう想ってい
ます。

これからは、毒があり、夢がある手作りの
舞台を、続けていきますので、若い人も年の
いった人も、ぜひ、見に来てください。

去年秋初めて大阪公演をやりまして
打てば響くというか
反応は良かったです
地方公演も東京公演とつながる形で
話ぐれば行ってみたいですね

私のことですか？

そうですね。今までは頼まれた仕事を、物
珍しさもあって色々やってきたけど、何でも
かんでも引き受けすぎた感じがする。これか
らは引き出しを作って、じっくり楽しんで芝
居創りをする、そういう余裕を持ちたいな。
時間がないと消耗するばかりです。
それに書くという事は目に見えない作業

なわけだから、いろんなものをゆっくり整理
して、勉強する時間を作っていきます。そう
していかないと、劇団内部への影響も大き
いですからね。

まあ、今年は勉強の年です。
地道にやっていきますよ。

えっ、ジュリーとテレビで共演した感想で
すか。
複雑な感じ。ですね。

えっ青い鳥ですか？

それは実生活の憧れであり
豊かなものは目に見えなくても
あるんだから
それを失くしちゃいけないんです

今回の「千の眼のカデンツァ」は八一年に
上演した作品の改訂版なんです。

話としては父親が自殺して、母子家庭に育
った男が、自分もまた父親のように自殺を繰
り返すんです。それがどうしてなのかを探っ
ていくと、メーテルリンクの青い鳥の幻燈会
と重なっていくというものです。

青い鳥のチルチルは自立していく少年の話
だと思えば、この芝居は簡単に言えば四七才
の男が自立していく話なんです。

前回の作品に不満が残っていて、もっとつ
きつめてやりたかったことや、あてこみで書
いた役者のキャスティングの変動などもあっ
て、初演のものはだいぶ変わっています。

えっ、暗い感じになってますか？

そうかもしれませんね。五年前の初演の時
は私も若かったんで、死というものを、残酷
に、冗談めかして扱えたんです。だけど、年
を取って人生経験を積んでくると、そういう
のって辛くなってきましたよ。

演出も前回は笑いを取るようにしたんです
が、今回は、役者がじっくり芝居をする。そ
の中心に据えてるんです。もつとも私
の出番は稽古の段階で徐々に減らしましたけ
どね。

●カデンツァ Cadenza (曲)

音楽の終止形、またソロの技巧的聞かせと
ころで主に楽曲の終りの部分。

●千の眼のカデンツァの初演は81年7月、
池袋シアターグリーンで。

●渡辺えり子さんは一九五五年山形県生まれ
です。





朝倉撰 Visual Performance 1

ビニールの海

まがいものの美学
市川猿之助主演「ヤマトタケル」



あたしは、本格的な歌舞伎の仕事というのが、この猿之助さんの「ヤマトタケル」が初めてで、だからといって、特に意識はしていなかった。それでもね。結構、あたしは、歌舞伎については詳しいのよ。というより、あたしの叔母さんが、芝居が大好きで、5歳の頃から連れていかれているから、今、公演している演目というのは、ほとんど見て見すぎたくらいです。

それでも、今度の仕事で、苦労したのは、熊襲の屋台崩しの場面。どうしたら、一番インパクトがあるかを考えてね。普通の歌舞伎なら、あの家というのは、フラットに組むんだけど、あたしは、わざとL字型に組んで、奥行きを出そうとした。しかも、毛利さんの衣装が、あの通り、デコタイプで、極めて豪華でしょう。色調としては、装飾として、あたしは、意識的にモノトーンに抑えようとしたのです。

それと、あの海ね。海というのは、元々歌舞伎の中にも、ある手法で、あたしは、材質をビニールにしただけのよ。それでも、変な感じになるでしょう。最初、何かおのれの大群が一杯いるようだったんだけど、動かすと、海に見えて、それでいて妙なものになるでしょ。あれが、すごく、おかしい。

何に影響されたか分かるでしょ。フェリー

二なんです。「そして船は行く」。あの作りものの、まがみがしな。ほら、最初、白黒で始まって、かつての映画の雰囲気を出しながら、乗船する客がタラップを上っていくに従って、スーッと色が付いて、とてもいいじゃない。それで、甲板で流れていた難民が、ジブシーなんだろうけど、踊っている。もう、願望的でいて、ものすごくきれいだし、そのくせ、肝心の船から、海から、雲まで、皆作りのもの。でも、本物以上にリアルで、しかも奇妙な雰囲気が出て、凄しい、素敵ですね。しかも、最後には、全部裏いていくじゃない。こうした、まがいものの奇妙な世界の要素が、海をビニールにしたことによって少しでも出せばね。猿之助さんというのは、そうした可能性を持っている人なんですよ。これを舞台の上でやりたい、と思うわけ。あ、それ掛けてでありながら、リアリティがあって、それが、どんどん裏かれていくような面白さがある。

舞台の美術をやる上でも、こうした、こだわりみたいなものを大事にしないかな。後、あたしには階段に対する執着があるんだけど、これは勿体ないから、次に話そうね。

(インタビュー構成 山口 猛)



フェリー「そして船は行く」 写真提供：シネセゾン



フェリー「カサノバ」 写真提供：フランス映画社



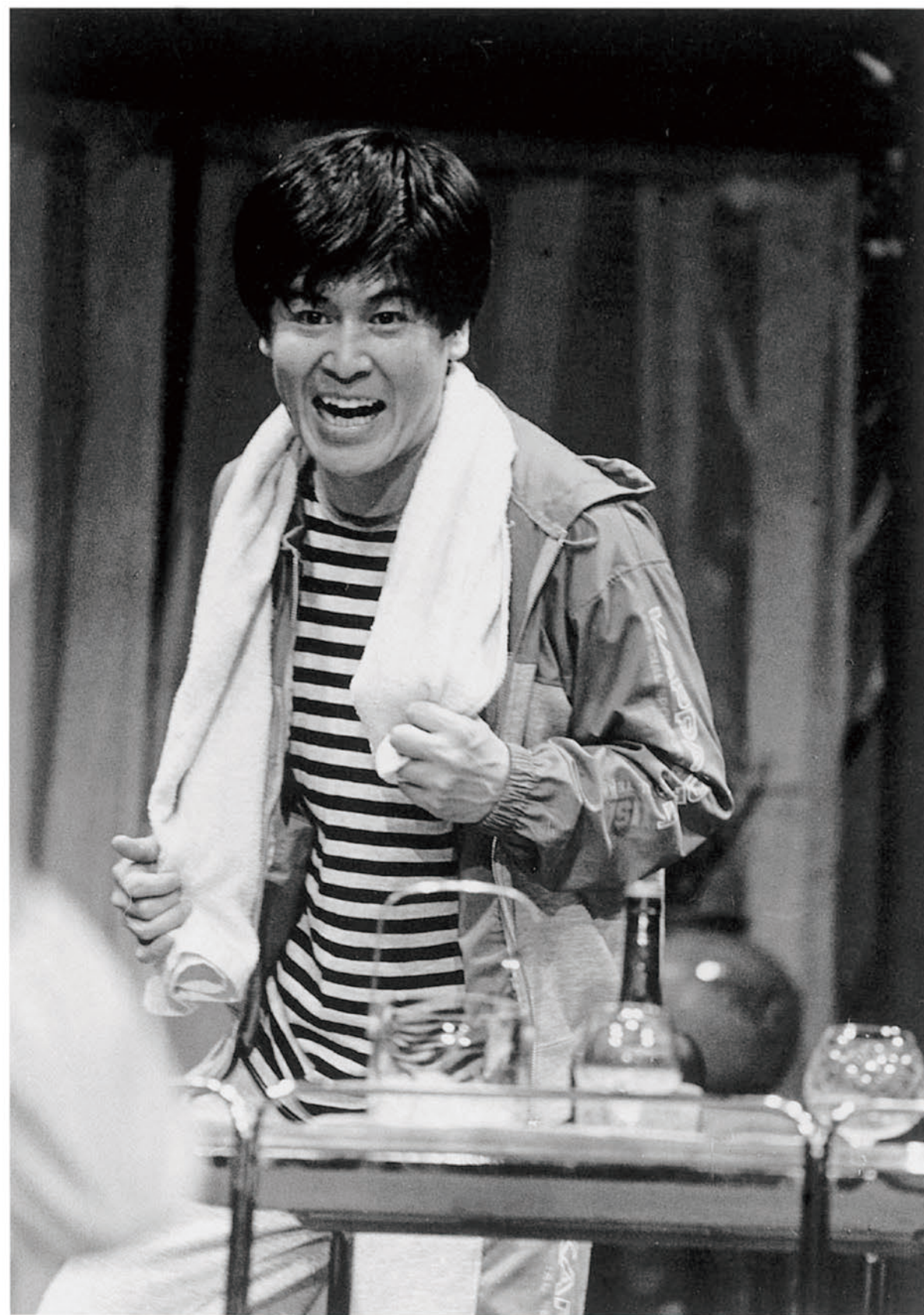
「セツノグラフィ・朝倉撰ステージワーク」は4月2日～21日 パルコパート3で行なわれ、多彩なゲストと素敵な展示空間で好評のうちに終了しました。



五月舎+現代制作舎+紀伊國屋書店提携公演

愛のスクランブル

作・佐藤五月 演出・小林裕



●キャスト
風間杜夫
藤田進
熊谷真実
花王おさむ
奥村公延

劇団鳥獣戯画10周年記念+ザ・スズナリ提携公演

桜姫恋袖絵

原作・鶴屋南北 演出・知念正文



●キャスト
桜姫・白菊丸 石丸有里子
権助 ちねんまふみ
清玄 小川鉄雅
残月 倉田秀人
長浦 葉央純子
悪五郎 持谷友実

桜姫が左の袖をめくると、そこには権助の腕の刺青に良く似た、鐘に桜の刺青が、

権助 こ、この刺青は、
桜姫 そなたの腕と同じもの
権助 そんならこれをあのときに
忘れない去年の春、まだ一
人寝の乙女の部屋に、こっそり
忍んだ男の影。どんな顔やら殿
御やら、頭巾まぶかて定かなら
ず、ぞつと揺うて懐えるこの手
を

権助 否応なしに引き寄せて、世界を
知らぬ初物に、もうけもの舌
鼓。うまい酒に酔うたよに、夢
と現を行き交うこの身を引き戻
したる鶴の声。

●劇団鳥獣戯画公演予定

パフォーマンス・ドラマ鳥獣戯画

9月1日(月)～10日(水)

下北沢・ザ・スズナリ

作・演出 知念正文

☎369-7668

SUGAR

④絶対アイドルマガジンとして創刊5年目。

A-5版・全160頁・定価390円

考友社出版/発行☎359・2321

桜木編集室/制作☎359・2341

⑥6月号の特集は原田知世。プラス中山美穂★荻野目洋子★おニャン子クラブ★杉浦幸★河合
その子★富田靖子★少女隊★工藤夕貴…アイドルのレコード評も秀逸とヒーバンです。

Drawing Performance

マーク・コスタビ

Work Shop

リンゼイ・ケンプ

Dancing Voice

如月小春

<<<< シブヤ西武シード開幕イベント

3月20日～4月15日 於シードホール



マーク・コスタビ自身によるドローイングパフォーマンス



今回の展覧会では、ウォークマンやコンビュ
ーターや電話に開かれた、ノッペラボーな人間
たちが描かれる。近未来と20年代・30年代が交
錯する作品群は、見る人々に、不思議な感動を
与える。
SAY LESS AND SAY YES.
口数は少なく、聞く時は、イェス。

マーク・コスタビ展



写真提供 ツルモトルム

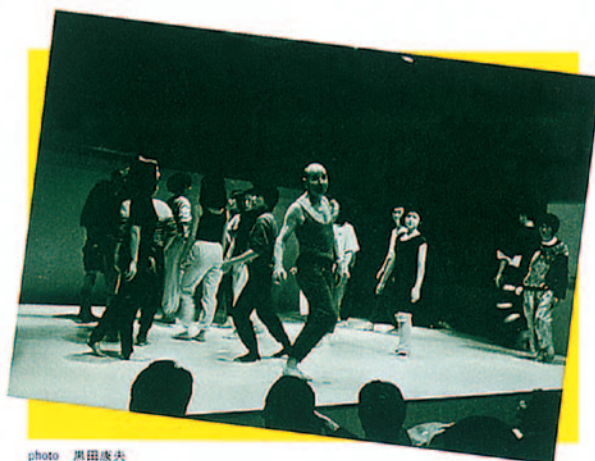


photo 黒田康夫

大きく息をすいます。
あなたは山の頂上にいます。
雲の上を歩いていきます。
身体は鏡です。
狂気で時間をとめます。
身体じゅうから光がでていきます。
すべてのゼスチュアが贈りものです。
あなたは風です。腐った果実を木から落とすよう
な……。
ナチュラルに。シンプルに……
だんだん小さくなって
あなたはライラックの花の下にいます。
バラの花の下にいます。
ブロンナード (前夜)
大きく息をすいます……

リンゼイ・ケンプ ワークショップ

魔法と魅惑の世界

リンゼイ・ケンプ ティーチ・イン

櫻本了孝「ヤマトタケル」をこぼれたったま
ですが、彼の宙乗りについて、点数をつけると
すれば、何点
ぐらいですか。
ケンプ 猿之
助は私の先生
です。教師に
点数をつける
生徒がいるで
しょうか。し
かし、猿之助
は宙乗りを私
から、盗んだ
のかもしれない……。



ヨーロッパ公演より 写真提供 テイト・コーポレーション

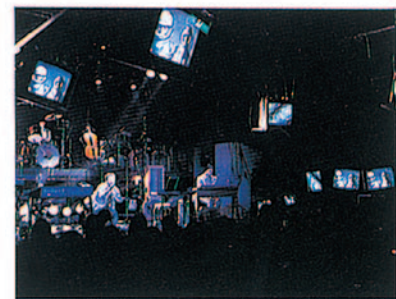


photo 板津真樹

演劇の舞台を超えた……
コンサート舞台を超えた……

如月小春インタビュー

「演劇とは、私たちの生きている時代を写し
とる装置だと思ふんです。
私の場合は、その中に様々な要素をとりこん
でいまして、たとえば、ビデオとか、新しい照
明方法とか。そんなことで、TOTAL・AR
Tといわれることもあります。
今回のLP・EPの制作については、転進で
はなく、フィールドを拡げるといふことなん
です。そのような様々なジャンルを体験して得た
ものを、また芝居の中にとりこんで、より大
きな芝居にしたいと思っています。
LPの中身は、一緒に芝居をしてきた仲間の
芝居の中から選り抜いた音楽と、私を好いてい
てくれる人々、私の友人たちから渡された、可
能性」といふことです。」



如月小春「都会の生活」

聞きしに勝る世紀末



●如月小春 坂本龍一共同プロデュース
EP「NEOPLANT」
LP「都会の生活」
参加ミュージシャン 高橋悠治・近藤達郎
・伊東信介



リンゼイ・ケンプ

演出家であるとともに役者、ダンサー、振
付け師、シナリオ作家、教師でもあり、その
上、強いカリスマ性により団員たちをリード
している。音楽界では、デビット・ボウイの
頂点となった、あの「ジギー・スターダスト」
を創りあげ、ロック界に大センセーションを
巻き起こした。
一九三八年イギリス・リバプール、シェイ
クスピアの道化役者の子孫として生まれる。

●リンゼイ・ケンプ・カンパニー公演予定
「異色の夜の夢」
7月11・12・13・14日
五反田・国際交流ホール
※四八六・七五五六



マーク・コスタビ

1960年、カリフォルニアに生まれる。
カリフォルニア州立大学フラートン校で、ペ
インティングとドローイングを専攻。その後
ニューヨークに移り、作家活動に入る。それ
から今日までの数年間に、約200の展覧会
に作品を発表した。
佐野元春のカセットブック「ELECTR
IC GARDEN」の表紙イラストでも知
られる。

●シブヤ西武シードホール
イベント予定
テラヤマ・ワールド
4月24日・5月6日
寺山修司イベント館
渋谷西武シード 10階 シードホール
映画上映「シンボジウム」
演劇公演「草迷宮」 万有引力
寺山修司全仕事展
渋谷西武8階 特設会場
寺山修司の著作物の「書き割り」で仕切
られた7つのブース
☎ 462・3151・3

制作ノート

青い鳥
スペシャル

クラウド9

銀色の雲の上で



劇団青い鳥

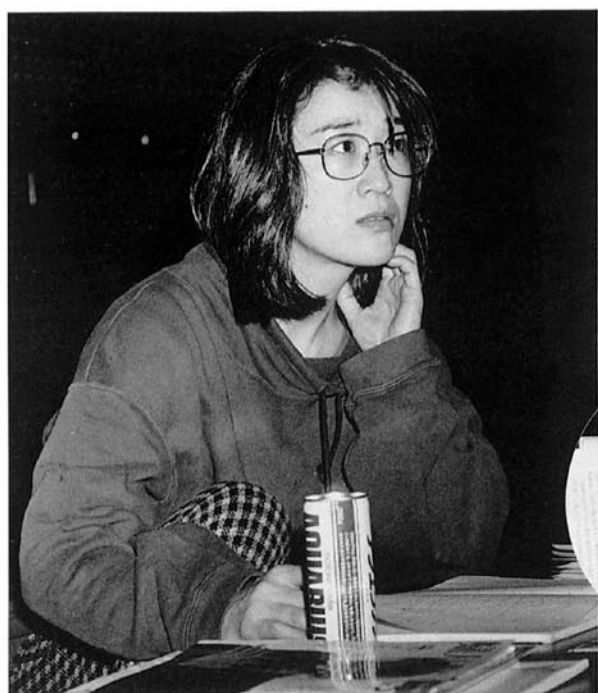
スペイン坂上、バルコ・パ
ト田への途すから。陽気だ。な
んと陽気に皆んなが芝居してい
ることか。カッパルや、カタカ
ナ職業人や「夫や妻」を演じる
人たちがあふれている。その堅
固さと、その巷にあふれる性の
役割を、その揺らぎを、ユーモ
ア込めて拡大して見せてくれる。
このウエルメイドの翻訳劇を、
前回のアドリブ多用の「ススナ
リの海」の次にやってみよう
という「青い鳥」の大胆さは、なん
というか、とても好きです。
重症の青い鳥病感染者の私に
は、出来不出来はもはや関係な
いのです。それより、今日は、
なんといっても記念撮影してし
まうのだ。草原でたむけれる役
者たちのポーズを撮影する、影
のカメラマンに今日はなり切る
のだ。と、いうわけで……



photo・青木司

公演の日が近づく

日	時間	公演	チケット
19日	18:00-20:00	1 白	1000円
20日	18:00-20:00	1 白	1000円
21日	18:00-20:00	1 白	1000円
22日	18:00-20:00	2 紅	1000円
23日	18:00-20:00	2 紅	1000円
24日	18:00-20:00	2 紅	1000円
25日	18:00-20:00	2 紅	1000円
26日	18:00-20:00	2 紅	1000円
27日	18:00-20:00	2 紅	1000円
28日	18:00-20:00	2 紅	1000円
29日	18:00-20:00	2 紅	1000円
30日	18:00-20:00	2 紅	1000円
31日	18:00-20:00	2 紅	1000円

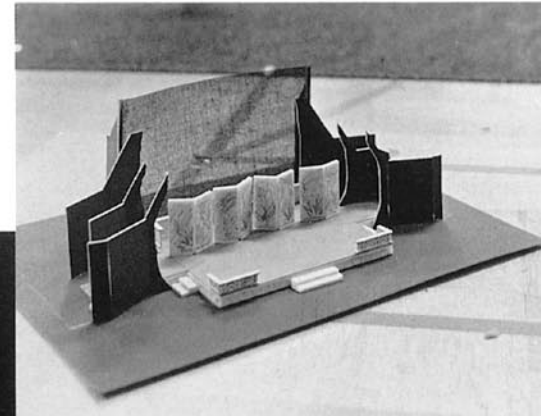
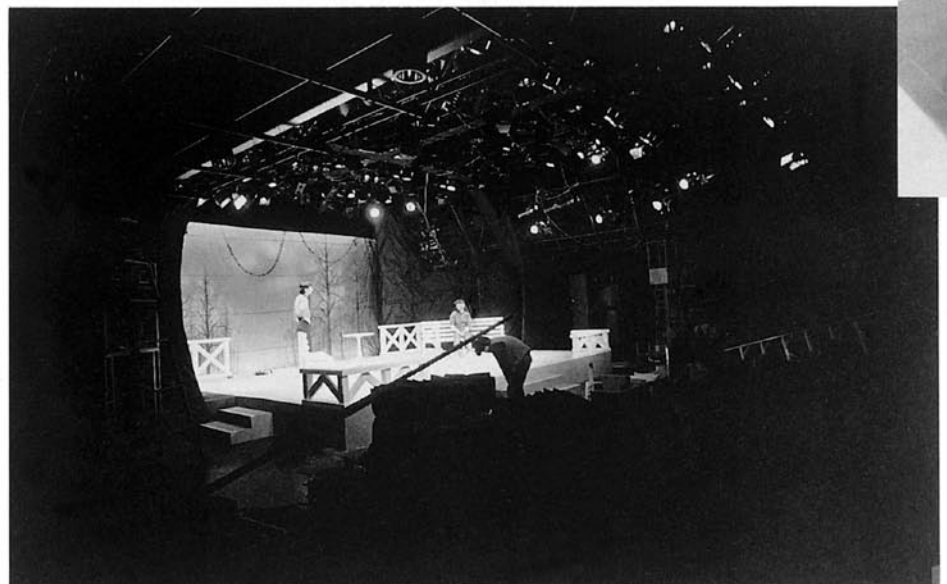


今回は演出に専念、
舞台を見る目も鋭い。

ケイコ場で



仕込みの最中、パルコも早や3回目。手慣れた作業で舞台が作られる



稽古場で、舞台のミニチュア。今度はこんなステージで

ペティちゃんの
素顔



●上村柚梨子

Wの隣
——
うんたのうんた

昨年、青い鳥はクラウド9で初
めて公演を迎え、翻訳劇だわ
の初めてづくしをしました。とこ
ろが今年のアンコール公演では、
それに加えて一人2役、Wキヤ
ストという。初めて、も体験しまし
た。紅組白組それぞれの3人は本
番中、同じ芝居を一日おきに舞台
の上で、楽屋でと過ごしたので
す。それは夢か現かという日
々でありまして……

「エレンは……? エレン、エ
レン、凄まじい剣幕で大奥様が私
を呼んでいる。何が起ったのか
しら、あわてて行くこうとしてフト
自分の恰好に気がついた。ヨレヨ
レのシャツにズボン、これはいつ
たい何? いつもの服はどこ? それ
にこの顔色……どうすればいい
の? 途方に暮れる私……」
「どうしたの?」その声にふりむ
くと、まあ大奥様? こんな所まで
おいて……心なしか私と同じ
ように顔色が悪……どこか
か髪を結いませ、お召し物が!?
シャツにズボン。どんな訳で……
気がつくとうとうわめいている筈
のエドワード坊っちゃんも一緒
で、いつものこざいいなレースの

ブラウスが、やっぱりくたびれた
シャツに変わっている。おちべれ
たというにはあまりにもお変わり
になられて……しばらくボンヤリし
ている私に「ヴェールをとって、こ
と誰かのあわてた声……うわあ! い
つも私の服を着た人が目の前に
立っている。誰なのこの人、考え
る間もなくその人はどこかへ消え
て行った。
さっきからいつた何が起こ
うとしているの? 私を置いてきば
りにして世界はどこへ行くとして
いるの、みんな私を忘れて行っ
てしまわないで……これはまるで
昔、トイレに行った間に出発して
しまし集合場所に誰もいなかった
遠足の夢だ。いざ出発の時、気が
つくときだけパジャマで手ぶら、
ねぐせだけの髪だった。修学旅行
の夢だ。立ち尽くす私、ほうける
エレン。この実存の不安は何?
パキーンと鏡が割れた……そこへ
ドヤドヤと大勢の人が慌ただしく
出入りする。もう私には何もでき
ない、何も考えられない。だってペ
ティはジョーに、クライブはエ
ドワードに、ジョシアはキヤシ
ーに、そしてヴェクトリアはいつ
も私のコートを着て、私の本を
持って行ってしまった。おーい……
私は、私は本を読まなきゃ、本を。
私は、自分の時間があんまりない。
ヴェクトリアなんだってば……」
と、心の中で叫んでいる私の耳
に、キンコンカンコンと鐘の音が
聞こえてきた。やがて「家路」の
なつかしい、誘われるようなメロ
ディが流れてきて、その中で、ゾ
ンダース夫人。の髪を「ペティ」
に結び直している私が楽屋にいた
のでした。

は……い。どうも、おつかれさまでした。それじゃ、写
真とりますから、舞台の上におねがいします。スタッ
フも制作の人にも上って下さいね。女の子達と一緒に
てやってみよう。青い鳥らしくして。初日ですから、
それじゃとりますよ。なんてたつたて初日ですから、
元氣よく、やるぞーってな感じでね。え? そんな
の下品? いえいえ気分だけは、気分だけ。それし
ゃいい。カシヤッ!

演出 ● 木野 花
原作 ● キャリル・チャーチル
翻訳 ● 松岡和子
出演 ● 綾田俊樹 久世龍之介 竹下佳男
田根 菜子 巻上公一 伊沢 啓紀
小林 洋子 葛西 佐紀 上村柚梨子
芹川 藍 南部夜貴子



超満員の観客は、延べ4,200名
またまた記録を更新した
そして、次の公演に向けて“青い鳥”は始動する

こしがいたい……。
もう頭が完全にトリップしております。

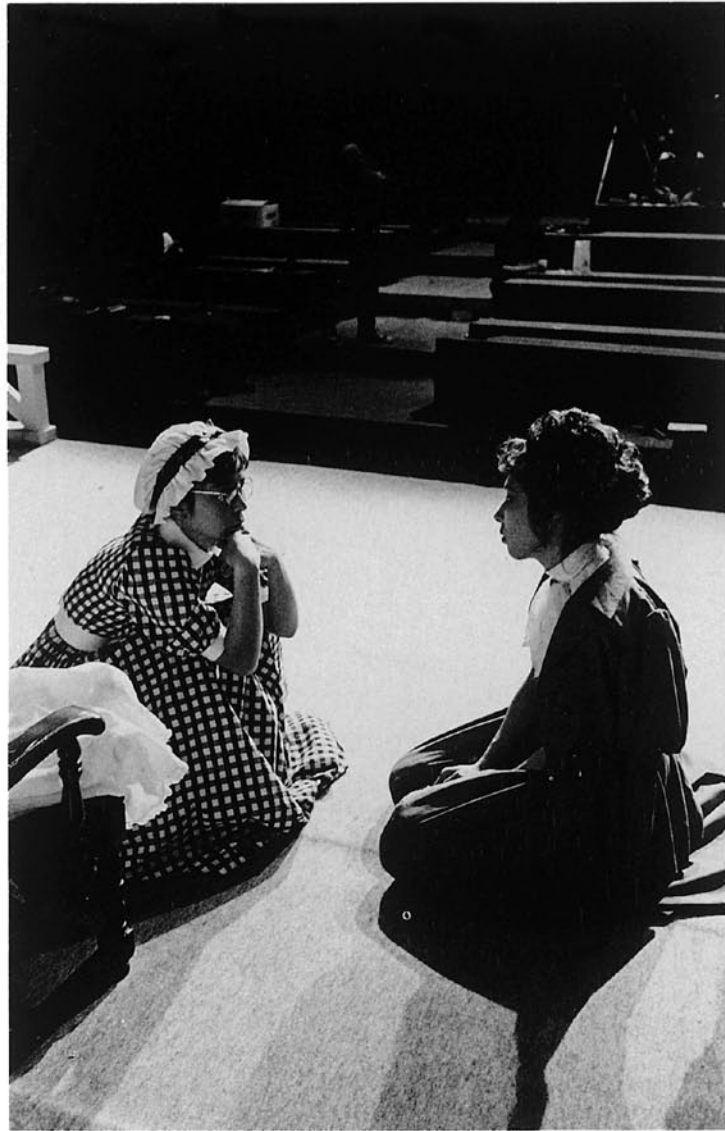
*高橋信子, 18才

あたしは、こんな顔です。



とても面白かったです。

*高澤まゆみ, 24才



公演前役者同士の相談も緊張ぞみ

新劇みたいで……。

*松尾陽一, 23才

●青い鳥公演予定

いつかみた夏の思い出

4月17日(休)~5月11日(日)

シアター トップス

作・演出 市堂令

☎ 404-6628



「夏の思い出」
——権吉陽日記

●木野 花
○三月十一日
「夏の思い出」は、三年前の作品だ。今日から一週間かけて、初演の時の台本をひっぱり出して再検討する。

「シンデレラ」もそうだったけど、「夏の思い出」も延々二時間半近くかかり、あと30分短かったら名作だと言われた。

あの、何処ぞのお方の言葉を、私は決して忘れない。そうか、短ければいいのか。やつてみようじゃないの。てな具合だ。

しかし、一言で30分というけど、いざとりかかると大変だこりや。まず無駄な所をカットする。ムダ、ムダ、ムダ、これもムダ、あれもムダ。やがて私は、この芝居が、いかに無駄だらけでできているか、を思い知る。

「ま、そこがウチのいいところなんだから、とりあえず、ムダのなかでも本当にムダなのをカットすることにしよう。」

「ちょっと待って。本当にムダなものこそ残しておくべきじゃない？」

「何？ 本当とか本当じゃないと、か。ムダでも、ムダでなくても、面白いものは残せばいいのよ。」

「そんなこと言ったら、みんな面白いわよ。」

台本ミーティングは、こうして早くも暗礁にのりあげた。明日に期待しよう。

○三月十七日
立ち稽古開始。さて、あの暗礁にのりあげた台本はどうなっただろう。六日間の話し合いの末、全員一致で「あそこはかえさう」というシーンがようやく一カ所決定。あと数カ所のクサくて、ダサイセリフをカット。十五分は短くなったろうという計算で、あとは、立ち稽古で、15分位テンポアップで突っ走ろう。なにがなんだかわからないうちに、一時間たつて終ってしまふ。最後の10分位に、「オッ、ニクイ、クヤシイ、ヨクヤッタ！」というシーンをしかけておいてと。……しかし、ひっかかるかな？ やっぱ、あと一カ所位、無駄なところをカットした方が、名作にふさわしいのではないだろうか。それに、立ちに入って、シーンがふえるってことだつて、今までの例からみると、充分ありうることで……。こうして、前途多難な「夏の思い出」の稽古は始まった。本番が楽しみなことです。

2時間かけて山梨から来ました。出がけに母にひどくいやみを言われていやな気持ちでしたが、おもしろくて、なあってしまいました。

*藤巻かおり, 17才

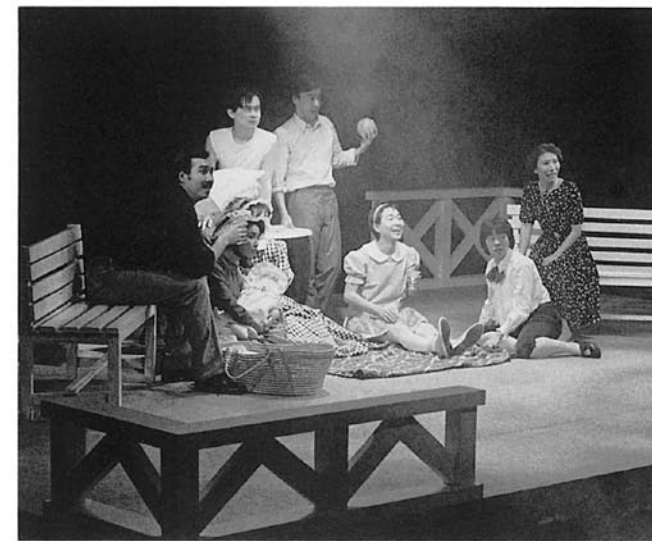


「ちょっとひとやすみ。でも、あそこのシーンが気になるな」



男がいる、不思議だ！

*松村 厚, 23才



「よーやく幕があいた」「でも、今日は私の出番なしで実感湧かないな」

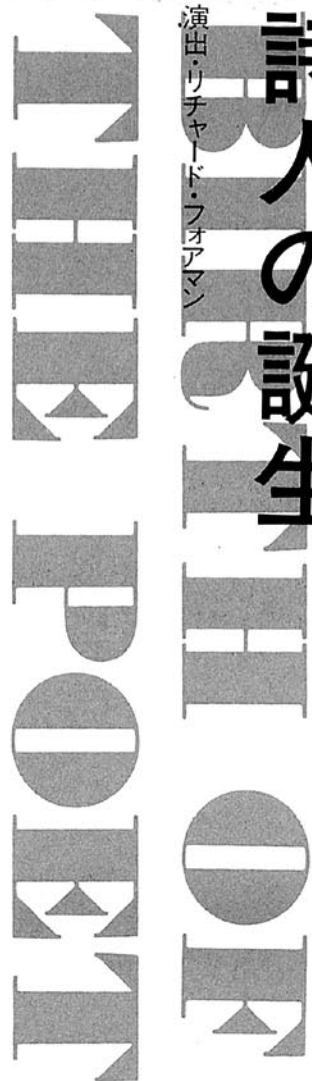


おもしろかったです。今度また創作をやって下さい。るんるん。まきがみさんのふあんです。なんてミーハー。

*松崎里美, 19才

詩人の誕生

演出・リチャード・フォアマン



ヘリチャード・フォアマン by 田上節朗

リチャード・フォアマンという名前ばかりと聞き慣れないかも知れないが、ニューヨークのエクスプレメンタル・シアター界では大御所とも言える演出家である。一九六二年以来フォアマン自身のオン・トロジーカル・ヒストリック・シアターを始めとして、ニューヨークやヨーロッパで常に刺激的な作品を発表し続けている。

昨年はニューヨークのブルックリン・アカデミー・オブ・ミュージック(BAM)の恒例ネクスト・ウェイク・フェスティバルで「パース・オブ・ザ・ポエット」(詩人の誕生)を公演して賛否両論を巻き起こした。オペラとサブタイトルのついたこの作品は作家のキャシー・エイカー、音楽のピーター・ゴードン、デザイン・デイヴィッド・サルらとの共作で、一九八四年の春ロツテルダムで初演されたものを大幅に改作したもの。オペラといってももちろんアリアなどあるものではなく、ニューヨークでは新しい総合的なパフォーマンスをオペラと呼ぶことが多いようである。

これは期待された作品であったが、大きなBAMのオペラハウスには空席が目立ち、途中で席を立つ人は続出する。ブーイングは起こる。しかしフォアマンらしい刺激に満ち満ちたステージではあって、奇想天外目を見張るようなセット、背景、オブジェの転換、スピード感あふれるパフォーマンスたちの動きにあふれ出るセリフとなかなか痛快な作品ではあったのだが。

不評だった理由の一つは、共作といっても共同で二つの作品をまとめ上げたというのではなく、それぞれが勝手に作ったものを最後になってくっつけたというふうなもので、全体としての統一感に欠けたところが大い。

さてフォアマンは今年に入ってから、ニューヨークのミッドタウンにある小さな教会を改造した劇場セント・クレメンテで「アフリカニス・インストラクタス」というミュージカルを公演して話題になっている。

これは音楽のスタンレイ・シルバーマンとの共作でこちらは共作が見事に成功した例と言えるだろう。

このミュージカルは一九世紀末アフリカ探検を夢見るイギリス人たちという設定で、大人の遊園地としても呼びたいような楽しくしかも不思議な雰囲気、セット、ステージから客席をこうこうと照らすライト、ステージの上に張りめぐらされたストリングス、言葉から言葉に自由に際限なく展開していくストーリーに、リリックで美しい音楽。会場は百人あまりしか入らない大きさだが、古い教会の雰囲気と相まって独特の空間を創り出していた。フォアマンはこういう小さなスペースでより本領を発揮するようである。刺激がなくハンで押したようなブロードウェイよりこういったミュージカルの方がはるかに面白い事はまちがいない。

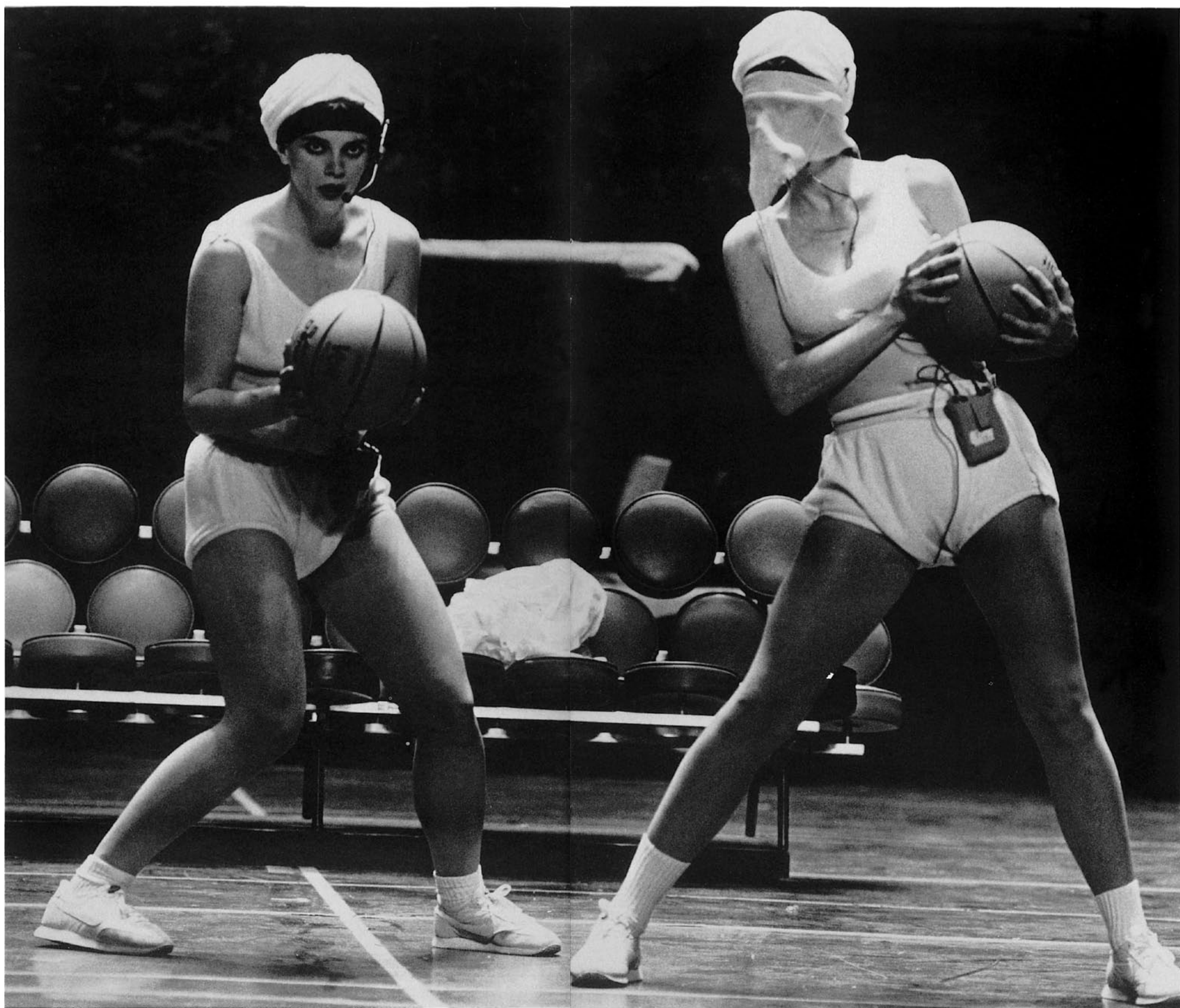


photo by Beatriz Schiller

洋泉社

朝倉喬司 vs 山崎哲
80年代を代表する事件を読む
犯罪の向う側へ

好評発売中 1200円
誰もが知ってる、あの事件、あの犯罪をめぐる明るく楽しい対談＝語り下ろし！三浦和義、かい人21面相、イエスの方舟、豊田商事、日航機墜落、金属バット他。

白石顯 著

「マスタートラックス」現代文明の辛口批評
アフリカ直射思考

好評発売中 2000円
アフリカン・カルチャー・ナウ！映画、演劇、音楽から文学まで、これまで一部しか紹介されてこなかった現代のアフリカ文化をトータルに論じた批評集。

演技する
高感度な街
六本木を
読む&食べる
桑原才介 著
六本木高感度ビジネス
好評 4刷 1200円
高感度な街・六本木の演出者であるレストラン、カフェバー、ディスコ等の経営者を徹底取材。最先端の時代感覚を明らかにした六本木誕生物語。

●梱包・送料共300円 目録呈●
〒162 東京都新宿区矢来町94
phone 03(235)6061 振替東京9-142410

錯乱、錯乱、
やよいの空は

上杉清文



春といえば桜、桜といえば花見、花見といえばパサラ大名として悪名高い佐々木道誓のことを、わたしは思い浮かべてしまうのである。ところでパサラとは簡単にいつてしまえば、極端な派手好き、過剰なお茶目のことである。建武三年（二三〇）に発布された「建武式目」はパサラの禁止をこう述べている。「近日、婆佐羅と号し、専ら過茶を好む。綾羅錦繡、精好銀剣、風流服装、目を驚かさざるは無し。頗る物狂と謂ふべきか。富者はいよいよこれを誇り、貧者は及ばざるを取つ俗の調弊これより甚だしきはなし。もつとも厳利あるべきか」と。

こうした困ったパサラの風潮を一身に体験してしまつたとなつてもない人物が佐々木道誓であつた、と、たとえば「大平記」などには記されている。わたしは佐々木道誓に興味を抱くようになったきっかけは、じつは「大平記」ではなく、宇能鴻一郎の『綱爛たる暗黒』『私記日本史』（S42・新潮社絶版）を手にしたことによる。この本は、「わたし、もう、ダメなんてす」という独特の文体で知られる宇能さんが、まだ

に宴を張つたのである。そして、本堂前の四本の桜の大本の根本に、高さ三メートルほどの真鍮を掛掛けて花瓶に見せかけ、二つの机に香炉を置いて、六〇〇グラムの秘蔵の名香を一度に焚きあげたので、「香風四方に散じ、人皆浮世に在るが如し」という有様だつた、と「大平記」は伝えている。そこに百味の珍膳、百服の茶が供され、飲めや歌えや踊れやの乱気騒ぎが夜更けまで続き、松明が天を焦がし、人々はみな狂乱してしまつたというパサラなパフォーマンス（悪行）が演じられたのである。そして佐々木さんは、政敵の催した地味なパフォーマンスのことを「かわゆげなるもの」と評し、笑い飛ばしてしまつたそうである。

そんなわけで、桜の季節になるとわたしの耳には、「錯乱、錯乱、やよいの空は……」という佐々木さんの脳天気な歌声が聴こえてくるのである。しかし、桜の木の下には、佐々木道誓によって突殺された真面目な死体が、いまだに埋まっているのだ。 合掌

河内音頭を聴く
機会があつたら

平岡正明



左・平岡正明 右・井筒家小石丸

この季節に生の河内音頭を聴くことはできない。河内音頭とは、河内地方の盆踊り歌であつて、一年中やっているとわけではないからだ。夏だけだ。青田の上を渡る風に宮太鼓が乗つてやってくると河内の夏だ、というのが今東光『悪名』の書き出して、その時代には神社の境内や河原に櫓が立つて、演者たちは櫓から櫓へ、あぜ道を自転車で走つて、トンボがこれを追つたと古老たちは昔話をし、うまく読んだ演者には櫓から下げられた紐の先に茶が落ちて、その茶の中に亀の子だわしだとか石鹸だとかが容れられてすると櫓の上にはひきあげられ、賞品になつたと言われる時代のことだ。

今はこういう光景は見られない。河内一帯は大阪のベッドタウンになつて、田舎なんでありやしないが、しかし河内音頭が季節ものという性格は変らない。夏、神社や岡地の公園や歩行者天国に、千

基の櫓が立つて、アマチュアをふくめて音頭取り一千人、東大阪市あたりまでを音頭一色にうすめつくしたのが、秋の声とともにハタリと消えてしまふ。あとはスナックやクラブのカラオケと、いずこも同じマイク合戦に変わる。しかし、まるきり、手がないというわけはない。音頭取りのなかにはクラブやスナックを経営している者も多い。あなたが音頭のファンで、季節はずれの河内音頭を聴きたくて音頭地帯に足を運んだのなら、閉店間際に頼んでみれば、カセットをセツトして一曲きかせてくれるかもしれない。

稲葉香の店「花水木」は八尾市のはずれ服部川にある。彼はこの店に、畳一畳分のステージを置いた。そのわりにカラオケ・マシンが置いてある。そのカラオケは、夏、練習時に、三味線、太鼓、ギター伴奏をとつておいたものだ。もちろん音頭用のカラオケな

世界はペーパーで
動きはじめている

山崎 哲



三月二十三日、大阪府寝屋川市で、工員A（三七）が子供三人をノックアウトで絞殺したのち自分も死のうと首すじを切つたが、果たせず、警察に自首するといふ事件が起こつた。Aは離婚したB子（三五）が詐欺容疑で逮捕されたことを悩み、一家心中を図つたのだという。別れた妻の事件で一家心中を図つたというのはなんだか解しかねるが、実はそこにはちよつとした事情が隠されていたのである。

二人は二月八日に、一月二十八日付で離婚したと役所に届けていた。が、この一月二十八日は、実はB子が「自分は詐欺を働いた」として警察に自首した日なのである。それだけではない。B子はCさんから高利の借金をしていたのだが、その返済期限も一月二十八日だったのだ。

その借金というのは、それ以前にB子がDさんから借りたお金を返済するためであつたという。なんのことはない。借金の自転車操業なのだ。彼女は結局、Eさんに詐欺罪で訴えられて二月十五日に再逮捕されるのだが、その借金の総額は一億円とも二億円ともいわれる。ただ、この夫婦がそうした大金を乱費した形跡はないので、それはどうやら雪だる

ま式に増えていった利子をふくめての金額だと思われる。以上のことから、二人の離婚は偽装離婚だったのではないかと想像される。事実、二人は離婚後も同居を続けているのだが、彼らはおそらく借金の返済のメドがまったく立たなくなつて、窮余の策を選んだのだ。B子はまず離婚して、愛する夫のAと子供たちには法的に迷惑がからないようにする。そしてB子は、もともと詐欺の意図はなかったにもかかわらず、あたかも計画的な詐欺であつたかのように警察に自首する。そこにはもちろんなんらかの罪の意識もあつたには違いないが、B子は詐欺罪で刑務所に服役すること、あつという間に膨れあがつた借金の地獄から逃げようとしたのである。少なくとも、自首すること借金返済の悪循環を断ち切ろうとしたのではないかと思う。ちやうど、麻薬中毒患者が自ら鉄格子の病室を求めようである。

一月二十八日に事件が集中しているのは、たぶんそうした事情によつていたのではないかとと思うが、結局、コトは三人の子供の死という最悪の結末を迎えただけであつた。

別役戯曲に
こだわる日々

常田富士男



近頃いくらか体が軽くなつた様に思えますが、身長は低い割りに頭が大きいせえが、何時も何か、重いなあーと感じながら暮らしている。眼が不自由になつた上、読むことに不得手な私は、それでも時に気になる読みものに出会つて、並べ得ない腹の奥の方の、私の間の部分に触れられて、太い首筋から、重い大きな頭の天辺に向つてズーンとした痺れの様なものが走り、背筋が伸びる様なボンヤリした温もりのある薄い幕が眼球から消えて、まだ老眼にはなつてないみたい、見えなかつた字がよく見えることがある。二十二年程前になりますか、唐十郎氏から別役実さんの「AとBと一人の女」、私共の芝居の演出をしている古林逸朗氏から「象」を初めて見せてもらった時も、やはり、ズーンとした痺れる激しい感じと、まるで捜していたものにあえた様な……感動したこと覚えています。別役作品の場所や時間、登場する人達の

姿に私は大変親しみを感ずります。私の重い頑固な体を解体せられる様な思いもあつて、以来確にこだわりつづけています。私共の演劇企画集団66は「暗天使」初演から今回渋谷ジャンジャンで五月七日から公演の「街角の事件」で十三作品の上演になります。その間十年程公演を中止して過ぎてしまいましたが、そのことについて古林氏は「場所と出」の公演チラシに次の様に挨拶しています。「（前略）……た、当時二十才だったわね、四十代に達していることは確かである。この十年間の空白の意味を、苦汁と自戒をもつて問い続けていくことが、われわれの演劇展開のすべてであり、方法である。（中略）「演劇とはまさしく、舞台上に人為的対人関係を構築することであり、人為的な奇妙な空間を現出させることである（別役実）われわれは「共通の作業現場」をめざして、とにかく、ふたたび、歩みはじめた。」

別役作品は大変清楚に上演されています。私は喜劇役者で心ざしにしているのですが、年をとればとつた、また見えなかつたものが目に見えて来て、今まで演じた舞台のことを何度も読み返している。一作ごとにお客さんと深いつきあひが生れて行く事を夢みています。別役さんの「台詞の風景」と言う本の中で、「演劇の台詞は作中人物の口を借りて「語り出される」前に、それを演ずる俳優の「詩魂」をふるいたたせ、無垢で荒涼たる舞台空間の中でおののかせなければならぬ。」とありますが、ともかく言葉ややさしい戯曲を前にして大変な稽古がつきます。或る日稽古場で古林氏はこんな歌があるよと言つた。牧水の「白鳥はかなしからず空の青海のあをに染めますよふ」

道化の道はギンシイものです。どうぞ舞台を観て下さい！

小劇場運動全史—記録・発見の会—

瓜生良介・著

判型 A5判

定価 2200円

〒161 東京都新宿区

中落合2-16-24

☎03-950-2053

発行 造形社

「記録・発見の会」はどんなことがあつても手に入れなきゃいけないビククリ本だ。宇宙人なんだから、良介は。内田栄一「発見の会」——この集団を瓜生良介の貴重な意志において名門となすよりない。平岡正明 わが「主治医」瓜生良介は、一切病める運動に対してはもまた、今や最良のくはだしの医者として立ち現れた。松田政男 資料として貴重などというカビ臭いことではなく、とにかく面白から読んで下さい。今野 勉 本書は、発見の会や瓜生良介氏のことを御存知ないかたが読んで、面白くて思わず興奮してしまう珍しい本です。上杉清文（本書、帯より）

発見の会 …………… 古典劇シリーズNo.4

河内音頭・堀川波鼓



原作／近松門左衛門 脚色・構成／佐々木守 演出／瓜生良介・立川好治

7月4日(金)5日(土)6日(日) PM6:30開場 7:00開演 土日マチネー（2:00開場 2:30開演）

前売・電話予約1,800円 当日2,000円

会場：スーパーロフト・KINDO（旧北方舞踏派都立家政倉庫）練馬区中村南1-5-1 ☎926-0271 問い合わせ 発見の会 982-7073

●世仁下乃一座公演予定
太平洋ベルトライン
8月12日13日
紀伊園屋ホール
作・演出 岡安伸治
☎892-6363



別れが辻



ネームリング



太平洋ベルトライン

作・演出 岡安伸治

別れが辻・ネームリング・太平洋ベルトライン

世仁下乃一座 オリジナルレパートリー連続公演……

●キャスト
里村幸雄
加藤金治
尾田量生
伊藤イサム
二村説子

岡安伸治

「三本の作品を連続して上演するのはうちの劇団としても初めてです。うちの芝居を見て、芝居の中の仕事の場面がとて素人とは思えない、日常生活でやっているから、出来るのだらう、という劇評が多いが、そうではあります。今回の三本連続上演で同じ役者が老人を、中堅サラリーマンを、中小企業の工員

を演じ分けているのが分ると思います。うまく演じたからといって、それをやったことがあるのじゃない。いふなれば、うそにうそをぬりあげるから真実がわかる、そういう演技の上での、表現の問題としての労働現場の演技のリアリティをみてほしい、そういう誤解をなく、いいチャンスになると思います。」

創立以来、若い観客の圧倒的な指示を受けて来た「夢の遊眠社」が、今年の四月で十周年を迎える。
結成以来、彼らが表現して来たものは、自由で軽やかに時空間を駆けめぐる夢の小宇宙であり、ひととき、その宇宙に紛れ込むことによって、現実には果たし得ない空想と冒険の時を、共に生きたような気にさせてくれる。その新鮮な感動が、観客の心を惹きつけてやまないのだろう。
そして、今、新しいステップを踏み出した彼らは、「まつりとしての演劇——演劇空間を開かれた関係の場へ」をモチーフに、いくつかの画期的なイベントムーブメントを企画

し、いわば発展期としての劇団の可能性を拡げていくとしている。そのひとつとして三部作の連続上演が六月に行われ、また夏からは、「あなたが選ぶ夢の遊眠社ベストプレイ」が東京と大阪で上演される予定になっている。その他にも、野田秀樹の日生劇場「十二夜」演出や、田城寺重夫、竹下明子の「スプレイ」、外部出演などもあり、活動の枠を拡げようとする新しい動きも見え始めている。
◎活動予定
★三部作連続上演
「白夜の女騎士」 「彗星の使者」 「宇宙蒸発」の三つの作品を一挙に上演する予定。
代々木体育館という広い空間を生かして、巨大なスクリーンによる拡大放映やリアルタイム生中継、また、

予想外の仕掛けによるスベクタクルなど、自在で迫力のある時空間を出現、展開させる。
●日時 六月八日（日）
場所 国立代々木競技場第一体育館
料金 一作品につき二五〇〇〜五〇〇〇円まで。三作通し券もあり
★ファンが選ぶベストプレイ
創立以来上演して来た日本の作品の中から、好きな作品・もう一度見たい作品を一つハガキに書いて送ってもらい、その中の上位二本を、あなたが選ぶ夢の遊眠社ベストプレイとして上演する予定。
・東京・本多劇場七月三〜二八日、九月五〜三〇日
・大阪・近鉄劇場八月二〜五日、一〇月四〜一〇日
★テレフォンサービス開始
「夢の遊眠社」の公演案内と、役者の活動状況など、知りたい人への情報サービス。
☎〇三—七七九—〇〇〇—



白夜の女騎士



彗星の使者



宇宙蒸発

楽しいくつろぎのひとときを…

とんかつ 洞門
かっぱ

千代田区内神田1-18-13
(外堀通り司町交差点ソバ)
☎ 295-8668

しなやかな感性と
最新技術をもって
作品を高めます。

製作物 「BRUTUS」「ライダースクラブ」「サクセスセンサー」
ソニー、NEC、ヤマハ等のポスター、チラシ、パンフレット

業務内容 広告企画、デザイン
写植版下

〒157 東京都港区南青山
7丁目1番21号
常盤松ハウス206
FAX 03-486-1755
PHONE 03-499-1781

(株)ベルデ Verde

●東京乾電池公演予定
若手公演 跳べよブタ
7月17日(木)~20日(日)
下北沢・ザ・スズナリ
作・演出 西本毅
☎476-1495



まことむすびの事件

作・山崎哲 演出・岩松了

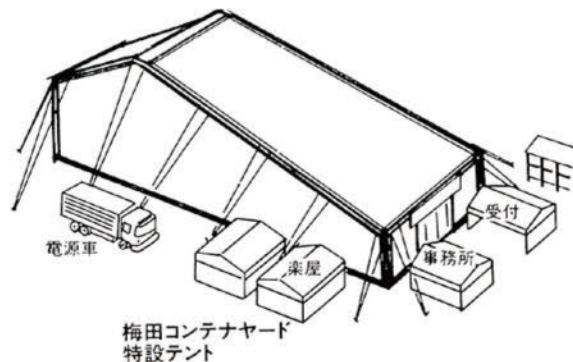
東京乾電池10周年記念公演

テアトロ・イン・キャビン第2回公演

日本三文オベラ・疾風馬鹿力篇

(原作 開高健「日本三文オベラ」より)

総指揮(親分) 秋浜悟史 台本・内藤裕敬 円谷秀樹 演出・内藤裕敬



●キャスト
南河内万成一座
ほか多勢

内藤裕敬

この物語に登場する者共は、「およそ魂など大にくれてやった」人々と誰かが言った。ならば私や私達も、およそ芸術や文学や演劇や才能や華やかさなど、大にくれてやればよい。ホルモンと一緒に、七輪に乗せタレに浸して飲み込むか、モウモウたるけむりに消せばいいのだ。

元来、原作に登場するアパッチ部落とは、そういう空間である。私達が思う教養や常識や秩序、そして義理人情まで屁の突っ張りにもならない。その日、その瞬間だけを問題にして生きる者共の集まりである。

(上演計画パンフより)



●この公演は大阪・梅田コンテナヤード跡(キヤッツ・シアター隣り)に手作りの特設テントを張っておこなわれました

●アパッチ

指名手配もいれば、密入国者もいる、間に紛れて鉄を握りおこしそれを売りさばく、早く言えばドロボロ集團

●キャスト

柄本 明
ベンガル
高田純次
黒木 瞳子
西尾 浩子

男1 ドラマやおっちゃん、これがドラマや、カカ……さ、おっちゃん、あいつらにおっちゃんのこと見せるんや、カカ……

さあ、刺すんや。青春という名のラーメンに向かって、刺すんや。タナカタロウさんの憎しみを背負うて、この青春、めいっ

はい刺すんや、カカ……刺して、やつらにタナカタロウ物語の結末見せてみい。そしたら

おっちゃん、拍手喝采やで、カカ……さあ、どうした、お

っちゃん。刺すんや、刺すんや、刺せ……

男3 はい……カカ!(刺す)

男1 ダメや、おっちゃん、もつと腹にチカラを入れて……

男3 はい……カカ(刺す)

男1 全然ダメや。もつと声を自分の体に響かせるんや、内側に響か

せるんや……

男3 カカッ、カカッ……(刺す)

男1 もつとや、もつと……

男3 カカッ、カカッ……(刺す)

男1 おい、なんだあの声……?

前、報告しろ!

バカヤロウ、こつちだつてよく

見えないんだ!

男1 おいつ、あいつ、ホントにやつ

てるんじやないのか?

男3 ナガノを……?

カメラ廻ってるか、廻ってるな

よし。

男1 俺が覗いてやる、誰か俺に代わ

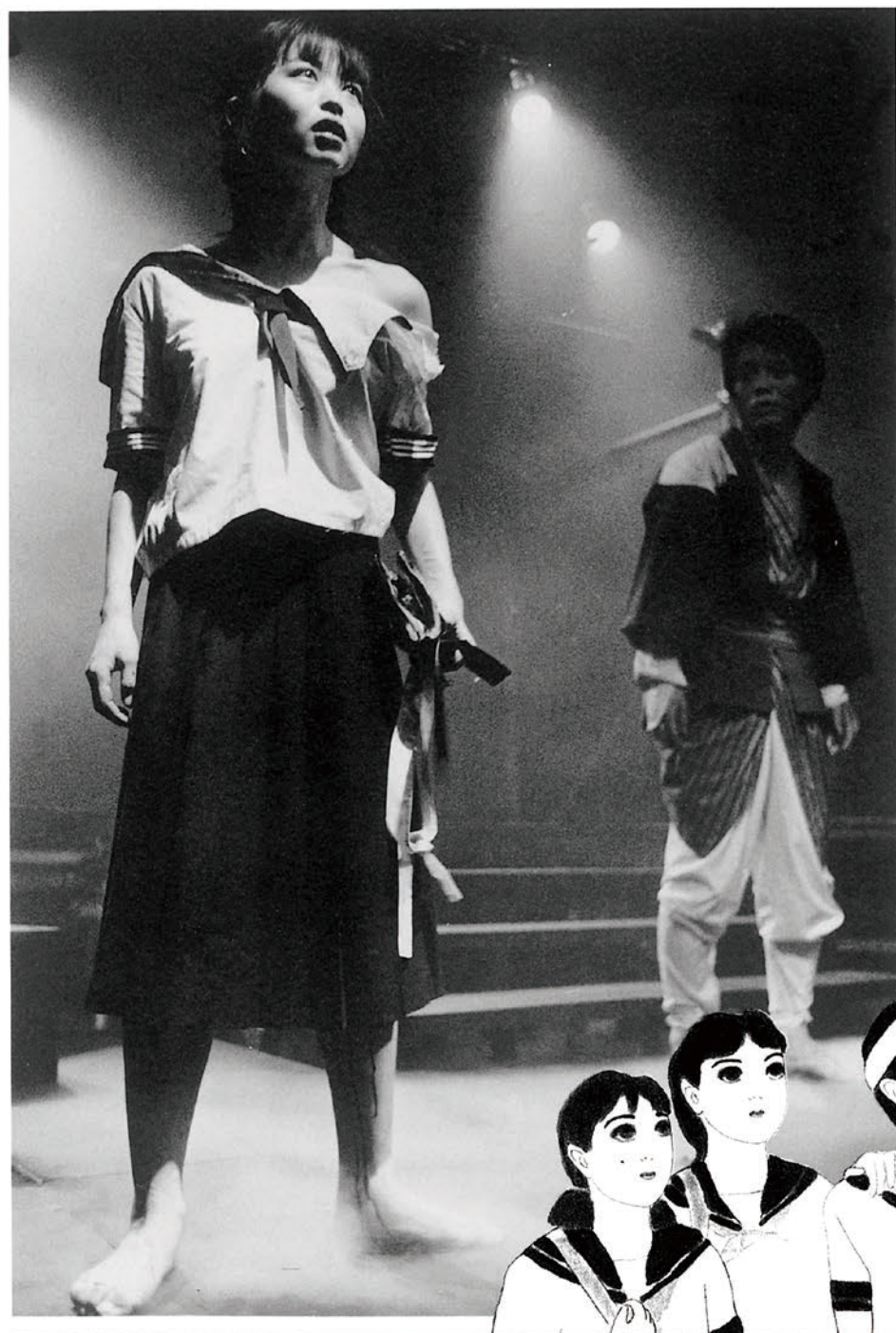
れ。

男3 静かにしろ……!

月蝕歌劇団第1回公演

女神ワルキューレ海底行

作・演出 高取 英



暗黒の中。
フルートによる「七里ヶ浜の哀歌」
が流れている。舞台にうつすらと
照明がさす。セーラー服姿の女
生徒たち数名が、読書をしている。
一人はフルートを吹いている。真
理子中央にいる。真理子のセリフ
の中で、フルートは効果音に変っ
ていく。

真理子 父さん、父さんは、わたしが

小説を読むと叱りましたね。

全員 文学の何たるかを解しえな

いずぶの素人が小説を読むと、

悪影響を受けて必ず人生が不

幸になる。

真理子 それは父さん、あなた自身の

ことだったのですね。わたし

が十三の春に買った「世

界文学全集」の第一回配本は、

ドストエフスキーの「罪と罰」

でした。わたしはそれを読み

ながら、ラスコーリニコフに

恋がしました。

天才は、生きる価値のない金

貸しの老婆を殺しても罪には

ならない。ラスコーリニコフ

はそう考えて殺人を犯します。

誤解しないで下さい。父さん、

わたしは、娼婦ソーニヤに自

分を発見し、ラスコーリニコ

フに恋をしたのです。でも、

父さんは、その本を取り上げ

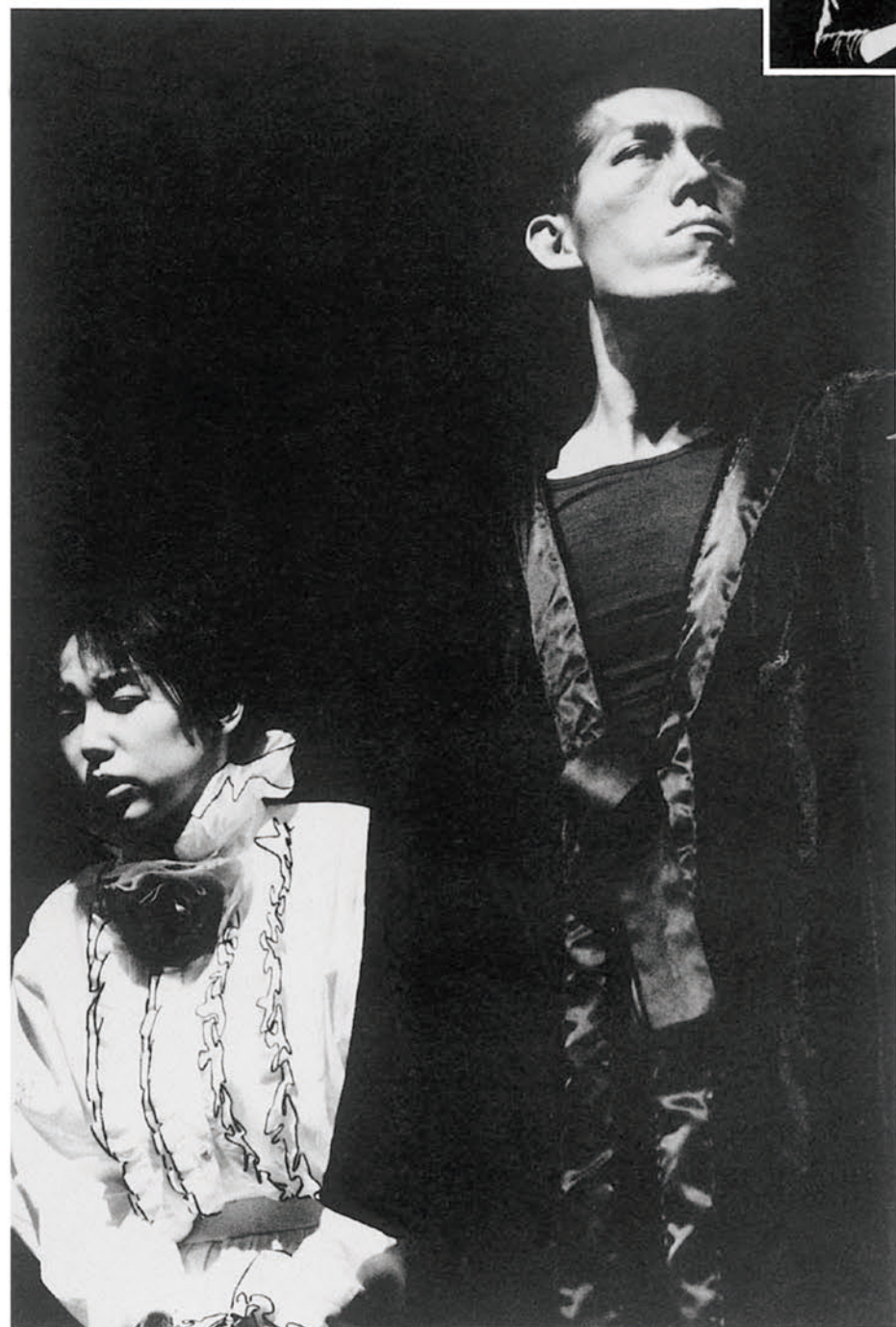
て、庭で燃してしまいました。

●月蝕歌劇団公演予定
帝国人形病院
7月24日(木)～30日(水)
下北沢・東演バラータ
作・演出 高取英
☎0422-53-8602

東京グラン・ギニョル公演

LITCHI HIKARI CLUB

作・K・TAGANE 演出・飴屋法水



●キャスト

ゼラ 常川博行

ライチ 嶋田久作

マリリン 越 美晴

ジャイボ 飴屋法水

タミヤ 武井龍秀

女教師 萩尾なおみ

中年男 丸尾末広

ゼラ：僕はここに立ってながめよう。

ライチという名の機械が、ゆっ

くりとさびついて行くのを。マ

リンという名の……マリリンとい

う名の少女が、塵散し、骨にな

って行くのを……。

諸君！……ポラン！

ベエギネン！

ゼラ、フエを取り出し、ピーッ！
と吹く。舞台後ろのカベになって
いたシート、全て落ちる。その向
こうに、いくつものキヤタツが立
ち並び、思い思いに光クラブの少
年達が、こしかけ、互いの血まみ
れの顔をライトでてらし合ってい
る。強いカネの音がひびく中、ゆ
っくりと暗転していく。

幕

ワハハの凸凹スぺース珍道中

A black and white photograph capturing a scene in a dark, possibly theatrical or performance space. In the foreground, a woman with dark hair, wearing a light-colored, long-sleeved jumpsuit or tracksuit with a decorative belt, stands facing slightly to the right. Behind her and to the left, several men are visible. Three of them are shirtless and wearing loincloths, suggesting a traditional or tribal performance. One man in the center-left is looking back over his shoulder towards the camera. Another man to his right is also shirtless and looking towards the camera with a smile. In the background, more figures are partially visible in the shadows, including one person who appears to be crouching or lying down. The lighting is dramatic, with strong highlights on the subjects against a dark background.

構成・演出 超薄的ワルツ

マダングツ

●農楽踊り歌などを学びたい方はワリ文化研究所まで ☎208-2713

桜前線

虎ノ巻
切りかけのオベリスク

青居空子
飯島早苗
池田貴美子
歌川雅子
鈴木裕美
世渡千夏
柳橋りん

ヨシコ あ、おとなりの奥様、おはようございます。

グレン・ブランカ・コンサート

桜の花咲乱る、今日この頃、皆様お下品にヨッパライをされていることと思いますが、私は、グレン・ブランカ・コンサートへ行ってきたわけです。ところがどーしたことでしよう、花見とお間違いになられたのでしょーか、お下品な「ギョーカイ人」がヨッパラって女口説くは人声でやじるは、フロアにしがやぐじは、それは酷いものでございました。この様な「ギョーカイ人」の皆様は速かに死んでいただきたと思う、私でした。わるいかな？

追想 土方巽

羽永光利

二十五年間、ひとの表現行為を撮ってきた。撮る、ということだけでなくそういう事を見て来た以前まで算入すると三十年余になる。そして、そんなとき決まって一言多い質問が、その後の長い交際が始まる発端になる。「どうして、そんなことをしているのですか？」と。

一九六七年冬、更夜。目黒の土方巽氏の稽古場は、二人が坐っている周囲だけを大きな点のように灯火が映し出し、その周囲を暗黒に包んでいた。

闇さは底無し天井知らず。とさえ想える程に、土方氏の語り口は深海を漂うように静かで、そして、漂うかと思ふと話題は遠く虚空をつらぬいて行く彗星のようでもあった。

「この宇宙がさあ、ブランコに乗って通りすぎて行くじやない。腿まで裾がはだけて」話しは佳境に達している。のちに「病める舞姫」に土方氏書き印したような言葉が、翡翠玉のように転がって密かに稽古場の壁に当

たつて消えた。

しかし、土方氏の目は、時タストープの側に置かれた親指程のマイクに注がれている。当時はまだ珍しかったカセット録音機から延びている吸音棒が苛立たせるのである。まだ、マイク内蔵ではなかったころのことだ。「ぼくは筆が遅いから書くのが苦手で」というのを、それなら土方さん話をテープに採って、それを書き興したら。という提言をして持込んだのが、この夜が始めてのことであった。ところが、テープをそのまま持ち帰って聴き直した所、何故か煩雑な音がまぎれ込んで、話の大半は聞き取れないというへまをしてしまった。雑音が入るような状況ではなかったのに、残念なことをした。

土方氏の通夜の晩、土方氏の語り口を残したテープが会場に流された。私が、あの晩採った録音は、その後ついに採り直すこともなく、また土方氏にあれば駄目でした。と言いつけも出来ずに、土方氏もまたオイ、あれは

どうした、とも聞かれずいや訊ねられたら、事情を言ってもう一回やり治しができたかも知れない。それを聞き糾もしなかった優しさを復り惟つて、通夜の晩、会場に流れる土方氏の声を聴いて胸の中で泣いた。

まだ、昭和三十年代に阿佐谷のアルスノーバで土方さんの踊る姿を目撃して、劇しくも厳しい仕種を鍛えたひとであることは余人の知るところではあったが、あのこぼれるような優しさを忘れることはできない。

私の脚に障害があるのを「足の悪い奴は逃げない、追わない。という信頼関係がある。そこをきみは知っていてその職業を選んだ」と、こちらの手の内を看破したのも土方氏だけであった。「ぼくら子供の頃には、田舎にはそういうひとがいっぱい居たの」。目の奥が微笑していた。皮肉でなく、それが生活なのだよと、いいかげであった貌を忘れたい。



出発は冒険だった

扇田昭彦



A B



C

A「見せ物の復讐」を唱えた天井棧敷の旗揚げ公演、寺山修司作「青森県のせむし男」はスクランダラスな話題を呼び、草月ホールに続きアートシアター新宿文化で上演された。東由多加演出、横尾忠則美術。＝1967年。
B怪優・奇優を勢ぞろいさせた天井棧敷の話題作、寺山修司作・東由多加演出の「大山デブコの犯罪」。＝1967年、東京・新宿の末広亭で。
C天井棧敷を旗揚げした当時の寺山修司と創立メンバーの横尾忠則(その左隣)。結成当時の果敢な不敵さがあふれている。＝1967年、新宿の末広亭近くで。〔羽永光利撮影〕

天井棧敷

状況劇場



E



F

D 紅テント興行を始める前の状況劇場公演、唐十郎作・村尾国士演出の「ジョン・シルバー 新宿恋しや夜鳴篇」(大久保廉＝左、と唐十郎)。この公演で四谷シモンがデビューした。＝1967年5月。東京・草月ホールで。〔羽永光利撮影〕
E 状況劇場の紅テント興行第一作となった唐十郎作「腰巻お仙・義理人情いろはにほへと篇」。左から大久保廉、中嶋夏、唐十郎、唐十郎、唐十郎＝1967年、東京・新宿の花園神社で。〔井出清児撮影〕
F 1967年、新宿でおこなわれた座談会に出席した27歳の唐十郎。童顔はまだほっそりしていた。〔羽永光利撮影〕

「一九六〇年代のはじまりは右も左もサルトル佐助だった」と、うまい言い方をしたのは嵐山光三郎だ(「泥の季節」、パルコ出版「唐組」所収)。
たしかに六〇年代のはじめは、若者たちはみんなサルトルを抱えていた。私は一九六〇年に大学の文学部に入ったのだが、私のまわりは、もう高校時代から『存在と無』に読みふけていたような、恐ろしいことばづかいをする連中ばかりで、私は自分の無知に顔を赤らめながら、本屋のサルトルのコーナーの前をウロウロした。
六〇年安保闘争を経験した当時の演劇志向の学生たちの間では、サルトルはいっそう輝かしい存在だった。当時は学生劇団のかつてないほどの隆盛期で、学生劇団のなかから、のちの小劇場運動をになうかずかずの才能が輩出したのだが、彼らの多くがサルトルの劇の上演に関係した。早大では「自由舞台」の鈴木忠志が『蠅』を演出し、「独立劇場」の津野海太郎が『自由への道』を脚色上演。東大では劇研の菅孝行、山元清多らが『アルトナの監禁された人々』を、全演の出口典雄らが「汚れた手」をそれぞれ上演。学習院大でも太田省吉、末木利文らが『歯車』の脚色上演にかかわったという(菅孝行『戦後新劇』、朝日新聞社)。

唐十郎はことにサルトル色が濃厚で、彼が明治大学の学生劇団仲間とともに一九六一年に結成した「状況劇場」は、「状況」という名前からしてサルトル風で、旗揚げ公演そのものがサルトルの『禁じられた遊び』だった。

だが、これほど多く鳴り物入りで上演されたわりには、サルトルがその後の小劇場演劇に残した影響が少ないのは面白い。サルトルの戯曲が古典的な骨格の近代劇で、思想的にはともかく、演劇面で新しい刺激を与えるたぐいのものではなかったからだ。

むしろ、静かな波紋を徐々におしひろげ、六〇年代から八〇年代の現在まで、驚くほど多くの劇作家にインスピレーションを与えてくれたのは、一九六〇年に文学座によって日本初演がおこなわれたベケットの『ゴドーを待ちながら』である。別役実、唐十郎、佐藤信から、つかこうへい、竹内統一郎、市堂令、鴻上尚史まで、彼らの劇作には『ゴドー』の濃い影が落ちている(拙稿「ゴドーの変身」、『文学』八五年八月号)。

こうした状況を背景に、一九六四年から六八年にかけ、小劇場運動を代表する劇団が相ついで結成された。小劇場演劇の第一世代が勢ぞろいしたこの光景は壮観である。従来からの「新劇」とはつきり別の、むしろそれに正面から対決する集団が果敢な活動を始めたのだ。

〔62年〕状況劇場(唐十郎、笹原茂米ら)

〔64年〕発見の会(瓜生良介、月まち子ら、変身)

〔66年〕早稲田小劇場(鈴木忠志、別役実ら、自由劇場(佐藤信、斎藤憐ら)

〔67年〕天井棧敷(寺山修司ら)

〔68年〕現代人劇場(蜷川幸雄ら)、転形劇場(程島武夫ら、東京キッドブラザース(東

由多加ら)

J



自由劇場

東京・六本木のアンダーグラウンド自由劇場は、完備した設備の小劇場として、当時出色の存在だった。開場2年目の自由劇場公演、オニール作、佐藤信淵色・演出の「皇帝ジョウズ」(右は串田和美)。=1967年。
J 劇作家としての斎藤清のデビュー作となった自由劇場公演「赤目」に出演中の吉田日出子。1967年、アンダーグラウンド自由劇場で。

L



K



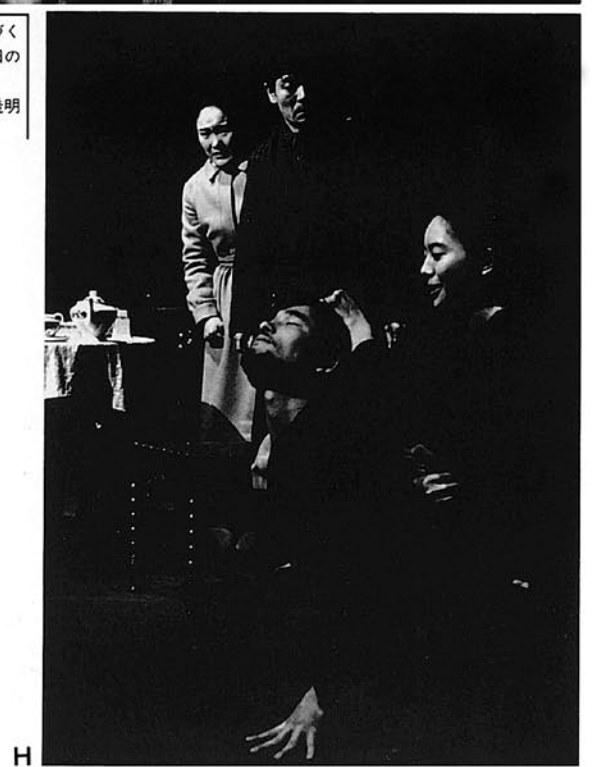
発見の会

K 当時、TBSディレクターだった今野勉が脚本を書いた、発見の会公演「エンツェン・スベルガー「政治と犯罪」よりの幻想」(向って右から2人目は、今、KDDのCMで人気の斎藤晴彦)。=1967年。
L 発見の会公演「おとしはなし和唐内」の舞台、武智鉄二が演出し、小劇場の役者による歌舞伎がつけられた。=1966年、東京・信濃町の千日谷会堂で。

早稲田小劇場



G 早稲田小劇場公演、別役実作「マッチ売りの少女」は、鈴木忠志演出の緊密な舞台づくりで反響を呼んだ(左から白石加代子、小野碩、宗形智子)。=1967年、東京・早稲田の同劇団アトリエで。
H 早稲田小劇場公演「マッチ売りの少女」の舞台。娘を演じた宗形智子(右端)の鋭い透明感のある演技が人気を集めた。=1967年、東京・早稲田の同劇団アトリエで。



H



■60年代のアングラ文化の中心、新宿の名物だった地下の小劇場「蜷座」。同じ建物の一、二階にアートシアター新宿文化があった。その後、建てかえられて、両館とも今はない。(羽永光利撮影)

人たちの多くは、演劇をはじめとする日本の「近代」を批判し、それを乗り越えることを大胆にめざした。しかし、そのような彼らの運動自体が、直接的にしろ、間接的にしろ、めざましい高度成長を続ける当時の日本の「近代」のいわば余剰に支えられていたというパラドックスは、忘れてはならないだろう。

それにしても、六〇年代の「第一世代」の写真を見ると、いまさらながら、彼らの若さ、ういういしさに驚いてしまう。当時、彼らの大半は二十代だったが、いま二十代の「第四世代」(川村毅、鴻上尚史ら)に比べても、その表情は幼く素朴に見える。なかなかの戦略家、理論家だった彼らだが、同時に、恥ずかしげもなく「青春」をやっていたのだ。

六〇年代の小劇場運動をになった若い演劇人たちの多くは、演劇をはじめとする日本の「近代」を批判し、それを乗り越えることを大胆にめざした。しかし、そのような彼らの運動自体が、直接的にしろ、間接的にしろ、めざましい高度成長を続ける当時の日本の「近代」のいわば余剰に支えられていたというパラドックスは、忘れてはならないだろう。

それにしても、六〇年代の「第一世代」の写真を見ると、いまさらながら、彼らの若さ、ういういしさに驚いてしまう。当時、彼らの大半は二十代だったが、いま二十代の「第四世代」(川村毅、鴻上尚史ら)に比べても、その表情は幼く素朴に見える。なかなかの戦略家、理論家だった彼らだが、同時に、恥ずかしげもなく「青春」をやっていたのだ。

なかでも、一九六七年、新宿の花園神社境内に出現した状況劇場の紅テントは衝撃的だった。当時の紅テントはいまよりも小型で、観客もずっと多くなかったが、フットワークのきくその猥雑で不敵なテントの姿は、小劇場の冒険精神のシンボルのように見えたものだ。新しい「場」の設定は、当時の小劇場運動にとっては相当重要な戦略のひとつだった。

六〇年代の小劇場運動は、日本の高度経済成長と、東京オリンピック(一九六四年)にともなう都市東京の大改造に並行して起こった。戦後がむしやに働きつづけてきた日本人の生活にやや余裕ができ、ビルの建設ラッシュなど都市に余剰の小空間が生まれ始めたという事情が、小劇場運動の背景にはある。高度成長のおかげで、定職につかず、アルバイトしながらも、なんとか演劇活動が続けられる状態が出来てきたのも、ようやくこのころからである。

六〇年代の小劇場運動をになった若い演劇

サム・シエパード——西部という神話。

大て神秘的なパワーの中に、居るだけという図。その感触こそ西部劇の、ひとつの大きさを根拠である筈だ。

そしてこの図法は「バリ、テキサスに台本を提供したサム・シユバードの彼自身の劇世界を貫くものでもある。NYオフ・ブロードウェイで1000回上演を記録して、昨年10月に終演した「フル・フオー・ラヴ」のこの芝居でも、それまでの多くの作品と同じように、人物は荒野の一部として登場する。——舞台は、砂漠のはずれの安



モリテル。ここで、一人の男と、一人の女が、夜を徹して争う。愛し合いながらも、お互を敵視し、嫌悪と欲情を爆発させ続ける二人。ありつきの言葉で、相手の胸をえぐるうとする二人の姿は、砂漠を徘徊する野獣どもの、あの闘争心だけを連想させずにはおかない。闘争心だけではない。むき出しの欲望残骸さ。悲しいまでの本能。どれをとっても、二人はまさしく野獣である。この二匹の獣を通して、西部のありとあらゆるパワーが舞台に吹き荒れる。

そんな感じがたしかにするのだ。

観客は、火花を散らす二人の魂の美しさに酔いつつも、西部の神秘的で圧倒的なパワーに、心さがせずには居られない。これぞまさしく、西部劇ではないか。

1982年、NYでスタートすると同時に、「フル・フオー・ラブ」は爆発的な評判を呼ぶ。現代都市NYの住人達は、現代の西部劇が放つパワーに魅せられ、そして立ちつくんだのであ



映画「フランシス」ジェシカ・ランクと



0年「復活(ダニエル・ペトリ)、1981年「ラジディ・マン」(ジャック・フィスク)、1982年「フランシス」(グライム・クリフ・フォード)、1983年「ザ・ライト・スタッフ」(フリップ・カウフマン)、1984年「カントリー」(リチャード・パーズ)、1985年「マイル・フォーク・ラヴ」(ロバート・アルトマン)

「フランシス」でのジェシカ・ラングとの共演を機に、二人は同棲する。ロマンスは、大衆誌の格好の標的となったが、コンビの力は「カントリー」というプロテスト精神あふれた作品に結実した。昨年末に公開された「フル・フーリー・ラヴ」ここでは、彼自身が妹に狂気の思慕を抱くロデオ・ボーイを演じている。愛し合ってしまった兄妹の物語。女優は「ナイン・ハーフ」のキム・ペイシンジャー(セクシィなだけ)。日本での公開を待ちたい。



あ の新宿ムラール・ジュのあった場所は、いまでも小杉なコメディシアター。ここで、日曜日ごと、一劇団平均4回公演とあり、これまたなかなか小杉な企画が誕生。小中劇団の野心作を、月変りて御披露する。初回に出るのは、現在評判上向きの「ザ・タインテッド」。まことに正統正解な笑いをつくる男5人の、この新鮮さを見よ。○「コメディシアター」+「ザ・タインテッド」「天下御免の萬年書生」□5月18、25日、6月1、8日曜日4回連続公演 コメディシアター 関合

せ 03・356・7555 ①

ロビーで落ち合う二人の夜の行末は
○「羅香文」+「THEATER/TOP
PS」奏鳴曲「ラ・ミュージカ・ドウジ
エーム」M・デュラス／作 大間知緒
子／訳 演出 吉行和子／中山仁／出
演□6月4日・15日THEATER/
TOPS 関合 ② 同劇場03・355
0・9696

日 本人の凍えた血、とても呼びたい
岸田理生の伝奇的作群、彼女が
「天井桟敷」在籍当時から哥に劇場時
代に書いた初期戯曲数篇を、「楽天団
の和田喜夫が演出。童謡や歌舞伎、昔

ばなしなどからモチーフを得つつ、不思議で良しい現代童話を奏てる岸田理生の、原点を開陳。巨人王が不在となつた王国で、不眠に陥つた女帝と、妖しの帝國住民が織りなすラフソディ

○『岸田事務所十楽天団』ワークシヨップ・眠る男』相田喜夫・構成・演出

□5月23日・5月27日 中野スタジオあくとれ 問合せ同劇団 ☎03・382・6030 ㊟

ち よいと耳よりなコンテスタのお知らせ。女の才能発揮を掲げたドラマ・フェスティバルが、ついにこの春登場した。今年はミュージカル『ファン

867 秋には札幌本多劇場の植芝
し公演も予定されている。

文学賞はやりが続く。主婦も歩けば
賞に当たるゴジセーです。でも、
演劇の世界となると、戯曲賞なんて太
海の中の一本の流木というほどの数
少ないが、そんな中で注目されるの
が、『テアトルエコー』創作戯曲
集だ。東西の現代劇の佳作傑作を
に発ち続ける同劇団ならではの好
賞金は30万円だ。1986年度、

ストをオーディションで。87年6月開演。日本のジャン・バルジャン役者は誰に? ○「東宝ミュージカル、レ・ミゼラブル・オーディション」□応募方法の詳細は常劇「レ・ミゼラブル」オーディション係 ☎03・212・4611 締切/86年5月10日(申必着)

ス バイ防止法もながれて、今のところ国民の関心事は黄金週間(いや、東京サミットかな。ま、それでもよいが)という東京はひとまず平穏。さて

るクーデター直後である。「十月劇場」
「幕末火焔帖・Ⅱ」は、京都に大火を起
こして御所を乗っとうという勤王派
のクーデター計画を軸に、野望に満ち
たスパイどもの跳梁跋扈ぶりを活写。
京の都をおおう大火に、現代人のハー
トムともさめく喜だ。○「十月劇場」幕
末火焔帖・Ⅱ 色はにはへど京の恋ー
お花畑でスパイラル 斉木耀 作・演
出□5月3ー7日池袋シアター・グリ
ーン 問合せ「トラストD.A」 ☎03
・264・7493

大戦後の愛の不幸をシュールに描いたベストセラー『愛人』で、日本でもおなじみのマルグリット・デュラス。彼女が85年に発表した戯曲『奏鳴曲』が本邦初演される。自作映画『インディアン・ソング』のように物語をぶつこわしたか?と思つたら、芝居は男と女の一夜を現実的に進行。離婚の手続きのために三年ぶり、ホテルの



第一週）もはじめた「アゴラ劇場」が主催する。この「ミュージズ・フェスティバル」は作者・演出家・制作責任者のいずれか一人が女性であること、を参加条件とする。よし、女のない劇団は演出家のお母さんに頼もうぜ、と考へてやるヤツは誰だ。アツコラ!? 劇場「アゴラ劇場」1987年1、2月ミュージズ・フェスティバル募集。□応募期間は、同劇場03・4・6・7・27・4・3まで。ノ切り9月1日、先着順に選考するので申し込み早めに。

■ 星86解散後、設立された「プロジェクト・ナギが北村想の新作「想越え・銀河鉄道」の夜」で本格的に活動をはじめた。劇団青い鳥の芦川藍と病氣で入院していた佳村カコが復帰。この二

●小劇場でオフもの多数上演—

ちよっと目立った動きなのがN・ブロードウェイ作品の上演のちなみにオフ・ブロードウェイ・ニューヨークのダウンタウンを5〜20ドルぐらい(高いのだとだが)で公演するノン・プロフ||非常利劇団(なかにはもうけもあるが。ちゃんと、オフ・ブウェイのユニオンもある。で、目下の人気作家と言えばサム・ードであるわけだが、この人の1月にパルコ・スペース・シアター本連続上演。また「Fool・Love」は劇団風社が5月にかけて、やはりオフの新鋭テレンクナリーの「ネクスト」を、オンター・TACが6月に、また、ストロシモースの「スプレイ」

オフ
るだ。
は、
心に
ドル
ット
のの
ード
のの
エバ
品を
が三
or
月に
スマ
・セ
W・マ
谷

てはA・ウォーホルと組んでい
もある俳優ロバート・ドララム
腹絶倒のオカマ芝居をやってい
るかと思えば、イタリヤ人街近
ストウイレッジでは、イタリヤ
の劇団があつたなりと、じつにさ
だが、おチャラケはおチャラケ
アスものはいくまでシリアスに
いる。つまりは、スタイルへの
りが実にスツキリしているのが
の小劇場シーンに比すれば、印
ところではある。

また、多岐にわたるオフの芝
でも、このところ日本で上演さ
は、共通してシリアスな作品。
きが、小劇場に新しい展開をも
ことを期待しよう。

こと
が、抱
たりす
イー
べだけ
まさま。
シリ
頃って
割り切
日本
家的な
居の中
れるの
この動
たらず



問い合せ オフセンターTAC (364)6168



風社 (264)7492



問い合わせ オフセンターTAC (364)6168



鳳社 (264)7492



国立劇場・養成課 歌舞伎俳優研修生



左・市川笑也 右・市川猿之助

閉ざされた伝統芸能・歌舞伎にも、小さな窓が開かれている。国立劇場の歌舞伎俳優研修生。この窓からキラッと光が差し込んだ。
「ヤマトタケル」で「みやす姫」の大役を演じている市川笑也は第五期の研修生。歌舞伎界の慣習を破る、大部屋からの空前の大抜てきである。

笑也トーク

歌舞伎、見たことなかったんです

——テレビで玉三郎さんを見たことがある、という程度。この世界のこと何も知らなかったし、役者になろうと思ったわけでもない。試験は面接、作文、発音、リズム感、身体検査。受かるつもりじゃなかったんですけど……。

研修で海老蔵さん（現団十郎）の「勧進帳」を見に行き、これが初めての生の歌舞伎体験。その雰囲気と迫力に感動し、いいところに入ったと実感しました。

初めてもらった拍手で「役者になろう」

——踊り、立廻り、トンボ、みんないままで使わなかった筋肉を使うから、体中が痛くて、トイレで座れない。トンボがどうにか切れるようになるまでに二か月。舞台一回稽古百回といって、それくらい練習してないときれいに切れないんです。二年目、「義経千本桜」に出演し、代役で「返り越し」（数人を跳び



越すトンボ）を切ったら、すごい拍手。このときですよ、いいもんだな、役者になろうと思ったのは。
猿之助さんで、誰？

——中堅やベテランの役者さんが実技の研修に来て下さるんですが、二年も終りの頃、沢湯屋（市川猿之助一門）の方から、こう言われたんです。「（研修が）終わったらウチへおいでと（猿之助さんが）言ってるよ」。そのとき周りに「猿之助さんで誰？」と聞いたんですからひどい話です。同期生は一人いて、卒業したのは五人。全員、それぞれの一門に入って、歌舞伎の役者になっています。とにかく三年やってみよう

——役者になっても一生大部屋。幹部にはなれず、下から支える役どころだと思ってました。役者としてはもちろん、歌舞伎の将来や生活も不安でした。「三年だけやってごらん、まだ若いんだから」とさとされて、気がついて四年目。これじゃいけないと、休みをもらって考えました。「自分の生きる場所は沢湯屋、若旦那（猿之助）についていこう」と覚悟が定まったのは二年前です。

——「小栗判官」の暴れ馬の後足も、虎の足や鯉の尾も、なんでも勉強だと思って一所懸命やりました。ヤマトタケルで「みやす姫」をやるかもしれない、あなたには無いキャラクターだけに覚悟しておいてよ」と言われたときは、恐くて、落ち込んで、もうやめようか

市川笑也・いちかわえみや

一九五九年生。青森県八戸出身。

八戸工大付属第一高校の機械科卒業後、国立劇場・養成課入り、二年後、伝統歌舞伎保存会に預けられ初舞台を踏んだ後、市川猿之助一門に入り、一九八二年四月から、市川笑也としての舞台をつとめる。

とも……。若旦那に褒められたことなんか無いんです。だから稽古に入って「その形いいから」と言われたときは嬉しくて。二か月の公演で、自分でもよくできたと思うのは、たった一日。若旦那から声をかけられたのは「出だし（の声）が低いよ」の一言だけです。スカッとするから立役もやめない

——女形も立役も両方できる役者が理想です。女形は抑えるだけだけど、大立廻りなんかスカッとするし……欲ばりですよ。

研修生から歌舞伎の役者になった人は四〇人くらい。その中から、誰か突破口をひらいてくれる人が出てほしいと思っていました。それがいまお前の役どころだと言われたら、恐いんです。でも、誰かがやらなければいけないことなんだから、頑張りたいと思ってます。

募集と研修のおおよそ
●コース——俳優のほか、竹本と鳴物のコースもあります。

●修業年限——二年間。

●応募資格——二三才までの男子。

●受講料——無料。奨学金等が支給されます。

●研修内容——行儀作法、着物の着方から実技まで。

●人数——約十名

●第十期生の募集は来年春。詳しくは国立劇場養成課に問合せ下さい。

●国立劇場・養成課

〒一〇二 東京都千代田区千代田四番一〇号

(〇三)二六五—七四一一代

●定期購読申し込みのおすすめ

本誌を毎回確実に入手していただくために、定期購読をご利用ください。

購読料金（500円＋送料100円）×6回＝3,600円

ハガキか電話でお申し込み下さい。本誌といっしょに郵便振替用紙をお送りします。

●誌上演劇写真コンクール

優秀なカメラマンの作品を募ります。1枚でも組写真でも可。コメントをつけて、編集部までお寄せください。「演劇ぶっく」は新進カメラマンを応援します。

●演劇ぶっくSTAFF……青木司 赤堀智見 秋吉三鈴 井口敦久 板波真樹 梅本承平 岡尾秋津 落合星文 神村光洋 坂口かずこ 佐々木秀隆 白鳥皓 手塚一弘 橋本克彦
羽永光利 八田宏一郎 飯田孝男 日吉真仁 藤野和樹 増田孝光 山田正満 山河薫 山口猛 デザイン・装文社＋α 題字・櫻澤一美